

栃木の国保

Vol. 63
2013.9

TOCHIGI NO KOKUHO

AUTUMN



栃木県国民健康保険団体連合会

■ 巻頭言	1
「このまちに住んでよかった」と 感じられるまちづくりを目指して	

那須塩原市長 阿久津 憲二

■ メインテーマ	2
平成25年度 栃木県国民健康保険団体連合会 通常総会	

■ 国保連協会長プロフィール	22
持続可能な国保制度に	

真岡市 星野 守

■ 私の趣味と健康法	23
「熱中できる何か」を見つけよう	

壬生町民生部住民課 参事兼課長 栗原 隆

■ 突撃ルポ 保険者みてある記	24
第101回 栃木市 豊かな自然環境や歴史・文化を活かしたまちづくり	

■ 収納率あっぷルポ	27
さくら市	

■ 特別寄稿①	28
第2回 国保料(税)収納率向上に向けて 「国保制度を崩壊させないために」 ～新たなる領域への挑戦!!～	

NPO 法人ローカルガバメントネットワーク理事長 堀 博晴

■ 特別寄稿②	30
第2回 ソーシャルマーケティングを用いた健診受診勧奨	

株式会社キャンサーズキャン 石川善樹・川本彩多利

■ 保健師活動報告	33
後期高齢者健診の受診率アップへの取り組み	

茂木町 保健福祉課

■ 保険者だより	35
健診を受けて明るい益子町	

益子町

■ ただいまこくほ最前線	36
--------------	----

佐野市 医療保険課 国保係

主事補 海老沼真一

塩谷町 住民課 保険年金担当

主事 郡司 大輝

■ リポート	37
--------	----

平成25年度国民健康保険料(税)徴収実務研修会

平成25年度国保事務担当職員研修会

■ 第三者行為損害賠償求償事務コーナー	38
---------------------	----

■ 歩こう、歩こう!あの道この道	39
緑と水を楽しむ	

■ 国保連合会のうごき	40
-------------	----

平成25年10月、11月、12月

■ 国保連合会からのお知らせ	41
----------------	----

■ 編集後記	
--------	--

卷頭言



那須塩原市長
阿久津 憲二

「このまちに住んで
よかつた」と感じられる
まちづくりを目指して

那須塩原市は、豊かな自然と豊富な観光資源に恵まれ、東北新幹線やJR宇都宮線、東北縦貫自動車道や国道4号線などの幹線が通る交通の要衝地であり、農畜産業を基幹産業とし、農業、観光、商工業がバランスよく発展しています。中でも、酪農業は、生乳生産額が本州第一位で全国でも第四位になるほど盛んです。その他、国内でも大変珍しい11の泉質を誇る塩原温泉や下野の薬湯と称される板室温泉、明治期を中心とした開拓、開墾の歴史的文化的遺産等魅力の多いまちです。

しかし、本市も我が国と同様に人口減少と少子高齢化と、避けては通ることができない大きな課題に直面しております。国立社会保障・人口問題研究所の人口推計によれば、2010年と2040年を比較した場合、総人口の減少率は8.8%。県内で2番目に低い数値ですが、生産年齢人口の減少率を24.8%と見込んでいま

す。市の歳入が減少するなか、いかに持続可能な行政運営を行うていくかが喫緊の課題であり、戦略的な施策を重点的に展開していくことが必要不可欠であると考えています。

そこで、将来にわたり活力と発展を継続し、「このまちに生まれてよかつた」「このまちに住んでよかつた」と市民の皆様が感じられるように、平成24年度からスタートしている第一次総合計画後期基本計画においては、4つの大きな柱「安全に、安心して暮らせるまちづくり」「協働によるまちづくり」「個性が輝くまちづくり」「効率的・効果的な行政運営による自立したまちづくり」を掲げました。これは、ふるさと那須塩原市を後世に伝えていくためのまちづくりの指針でもあります。

その中の健康保険・医療の分野で重点施策として掲げているものが、特定健康診査の実施であり、その結果を基に特定保健指導を実施すること

で、生活習慣病の発症の予防を図っています。併せて、生活習慣病の重症化の予防や、がんの早期発見、早期治療のため、人間ドック助成事業、がん検診事業を実施しています。

その他、健康な心身づくりのため、市内スポーツジム・スイミングクラブと協力し、健康度アップ事業、スイミング健康教室を実施し、運動習慣を創出することで、メタボリックシンドロームの予防・解消を図り、健康増進を進め、医療費の適正化を目指しています。

また、将来を担う子どもたちのためには、感染症予防のための予防接種事業を実施しており、今年度は、新たに水痘、おたふくかぜ、B型肝炎の3種類を追加しました。さらに、子育て家庭への経済支援を図り、より充実して安心した子育てができるように、子ども医療費の助成対象年齢を12歳から18歳までに拡大しました。

今後も、より充実した制度を確立するとともに、国民健康保険団体連合会の理事に就任したことを深く受け止め、会員の皆様や関係機関の皆様とともに、那須塩原市、ひいては栃木県全体の国民健康保険制度の健全、適正な運営に全力を尽くしていきたいと考えております。



平成24年度事業報告並びに歳入歳出決算などの議案を可決

平成25年度

栃木県国民健康保険団体連合会通常総会

平成25年7月26日（金）に、栃木県総合文化センター第1会議室で、平成25年度栃木県国民健康保険団体連合会通常総会が開催された。

本通常総会では、報告事項2件及び平成24年度に係る本会事業報告の認定並びに一般・特別両会計の歳入歳出決算の認定案件11件をはじめ、平成25年度に係る予算補正など議決事項15件が上程され、慎重な審議の上、すべて原案どおり可決された。



挨拶を行う
佐藤栄一理事長

冒頭、佐藤栄一理事長は、平成25年6月14日に閣議決定された、いわゆる「骨太の方針」や「社会保障制度改革国民会議」の議論を挙げながら、国保保険者の都道府県単位化に向けた検討などに触れ、「今後、様々な見直しが実施に移されて行くことが想定されるので、具体的な制度設計の動きなど、中央の情勢については、今後も適切に把握をして参りたい。」と述べた。そして、「本会としては、これらの動きを踏まえつつ、引き続き皆様との連携を図りながら、諸制度の安定的かつ円滑な運営確保に向け、努力を続けていく考えである。」と述べた。

続いて、栃木県保健福祉部国保医療課長 入野好市氏より来賓挨拶があった。



来賓挨拶を行う
栃木県保健福祉部国保医療課長
入野好市氏

その後、高津戸忠一常務理事が情勢報告を行った。



情勢報告を行う
高津戸忠一常務理事

さらに、議長選出が行われ、茂木町の古口達也町長を議長として議事に入った。なお、本通常総会に上程された議案については、慎重な審議の上、すべて原案どおり可決された。



議長に選出された
茂木町古口達也町長

閉会にあたり、佐藤栄一理事長は、議長へのお礼を述べ、「世の中の動きは日々変化をしている。」とした上で、「国保連合会としては、その変化に臨機に対応し、保険者に満足してもらえる国保連合会を目指し、職員が一丸となって邁進する所存であるので、更なるご支援とご協力をお願いしたい。」と結んだ。

本通常総会では、本会役員の改選が行われ、理事14名並びに監事4名が決定した。さらに、総会終了後の理事会において、理事長、副理事長及び常務理事の互選が行われ、理事

長に宇都宮市長の佐藤栄一氏、副理事長に小山市長の大久保寿夫氏と那珂川町長の大金伊一氏、常務理事に日光市長の斎藤文夫氏と学識経験者の高津戸忠一氏が選任された。



栃木県国民健康保険団体連合会役員名簿

任期 平成25年8月7日
平成27年8月6日

役職名	氏名	現職名	推薦支部名等
理事長	佐藤 栄一	宇都宮市長	宇都宮支部
副理事長	大久保 寿夫	小山市長	下都賀支部
	大金 伊一	那珂川町長	南那須支部
常務理事	斎藤 文夫	日光市長	上都賀支部
	高津戸 忠一	学識経験者	理事会
理事	星野 光利	上三川町長	宇都宮支部
	柴田 勝	全国歯科医師国保組合 栃木県支部長	宇都宮支部
	太田 照男	栃木県医師国保組合 理事	宇都宮支部
	入野 正明	市貝町長	芳賀郡市支部
	広瀬 寿雄	下野市長	下都賀支部
	人見 健次	さくら市長	塩谷支部
	阿久津 憲二	那須塩原市長	那須支部
	和泉 聡	足利市長	足利・佐野支部
	岡部 正英	佐野市長	足利・佐野支部
監事	佐藤 信	鹿沼市長	上都賀支部
	古口 達也	茂木町長	芳賀郡市支部
	真瀬 宏子	野木町長	下都賀支部
	高久 勝	那須町長	那須支部

(平成25年8月7日現在)

平成25年度栃木県国民健康保険団体連合会通常総会

I 報告事項

報告第1号 理事長専決事項報告について

- 1 平成24年度栃木県国民健康保険団体連合会診療報酬審査支払特別会計(国民健康保険診療報酬支払勘定) 歳入歳出予算補正について
- 2 平成24年度栃木県国民健康保険団体連合会保険財政共同安定化事業・高額医療費共同事業特別会計歳出予算補正について
- 3 平成24年度栃木県国民健康保険団体連合会介護保険事業関係業務特別会計(業務勘定) 歳入歳出予算補正について
- 4 平成24年度栃木県国民健康保険団体連合会国保高齢者医療制度円滑導入基金事業特別会計歳入歳出予算補正について
- 5 平成24年度栃木県国民健康保険団体連合会診療報酬審査支払特別会計(出産育児一時金等に関する支払勘定) 歳入歳出予算補正について
- 6 栃木県国民健康保険団体連合会規約の一部改正について
- 7 栃木県国民健康保険団体連合会事務局組織規則の一部改正について
- 8 栃木県国民健康保険団体連合会職員退職手当積立金規則の一部改正について
- 9 栃木県国民健康保険団体連合会障害者自立支援事業積立金規則の一部改正について
- 10 栃木県国民健康保険団体連合会障害者自立支援市町事務共同処理規則の一部改正について
- 11 栃木県国民健康保険団体連合会障害介護給付費等支払規則の一部改正について
- 12 栃木県国民健康保険団体連合会障害者自立支援事業関係業務特別会計経理規則の一部改正について

報告第2号 規則の一部改正について

- 1 栃木県国民健康保険団体連合会診療報酬審査支払規則の一部改正について
- 2 栃木県国民健康保険団体連合会後期高齢者医療診療報酬審査支払規則の一部改正について

II 議決事項

- 議案第1号 平成24年度栃木県国民健康保険団体連合会事業報告の認定について
- 議案第2号 平成24年度栃木県国民健康保険団体連合会一般会計歳入歳出決算の認定について
- 議案第3号 平成24年度栃木県国民健康保険団体連合会診療報酬審査支払特別会計歳入歳出決算の認定について
- 議案第4号 平成24年度栃木県国民健康保険団体連合会後期高齢者医療事業関係業務特別会計歳入歳出決算の認定について
- 議案第5号 平成24年度栃木県国民健康保険団体連合会保険財政共同安定化事業・高額医療費共同事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 議案第6号 平成24年度栃木県国民健康保険団体連合会第三者行為損害賠償求償事務共同処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 議案第7号 平成24年度栃木県国民健康保険団体連合会介護保険事業関係業務特別会計歳入歳出決算の認定について
- 議案第8号 平成24年度栃木県国民健康保険団体連合会障害者自立支援事業関係業務特別会計歳入歳出決算の認定について
- 議案第9号 平成24年度栃木県国民健康保険団体連合会特定健診保健指導費用決済業務特別会計歳入歳出決算の認定について
- 議案第10号 平成24年度栃木県国民健康保険団体連合会国保高齢者医療制度円滑導入基金事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 議案第11号 平成24年度栃木県国民健康保険団体連合会職員厚生資金貸付金特別会計歳入歳出決算の認定について
- 議案第12号 平成25年度栃木県国民健康保険団体連合会一般会計歳入歳出予算補正について
- 議案第13号 平成25年度栃木県国民健康保険団体連合会後期高齢者医療事業関係業務特別会計(業務勘定) 歳出予算補正について
- 議案第14号 栃木県国民健康保険団体連合会役員改選について
- 追加議案第1号 栃木県国民健康保険団体連合会職員の給与の特例に関する規則の制定について

III その他

平成24年度栃木県国民健康保険団体連合会事業報告書

平成24年度の事業については、平成24年2月24日開催の通常総会で議決された事業計画に基づき、県及び関係機関と連携を図り、保険者に満足してもらえる成果を生み出すために、次の各種事業を行いましたので、その概況を報告します。

- 第1 国民健康保険事業の安定的運営
- 第2 国民健康保険・後期高齢者医療診療報酬審査支払事業の効率化等
- 第3 共同事業の効率的推進
- 第4 実効性のある保健事業の支援強化と特定健診等データ管理業務の適正執行
- 第5 介護保険事業関係業務の適正執行
- 第6 新規事業への対応
- 第7 成果を生み出す組織体制・事務運営等の整備

第1 国民健康保険事業の安定的運営

国民健康保険事業の安定的運営に向けて保険者と連携を密にし、事務の効率化、調査研究、価値ある情報の提供に努めた。

また、医療保険制度を将来にわたって持続可能で安定的な制度にするため、引き続き国保関係者が一丸となり、より一層の国民健康保険事業の安定的運営に向けた運動を展開した。

第2 国民健康保険・後期高齢者医療診療報酬審査支払事業の効率化等

審査事務共助の充実強化、審査委員会への情報提供などによる効率的なレセプト審査体制の強化を図るとともに、審査事務共助支援システムを有効活用し、審査の更なる精度向上に努めた。併せて、国保総合システムの審査機能を活用し、一次審査の充実・強化を図った。

また、出産育児一時金等の支払業務及び後期高齢者医療事務代行業務の適正な執行に努めた。

第3 共同事業の効率的推進

保険者事務共同電算処理事業の更なる事業の拡充を図るため、国保総合システム機能を活用し、保険者事務の効率化を図った。

また、保険財政共同安定化事業・高額医療費共同事業の効率化、更には求償金の滞留防止等により第三者行為損害賠償求償事務共同処理事業の効率化を図った。

第4 実効性のある保健事業の支援強化と特定健診等データ管理業務の適正執行

生涯元気で活力ある地域づくりを支援するための人材育成および本会が提供する医療データの活用を推進した。また、栃木県保険者協議会を通じ地域・職域保険の連携強化等により保健事業の実効性を高めるなど、市町保健事業の支援を行った。

特に、生活習慣病対策のために医療保険者に位置づけられた特定健診等の目標達成のための支援を強化した。併せて、特定健診等のデータ管理業務の適正執行に努めた。

第5 介護保険事業関係業務の適正執行

介護給付適正化事業の積極的推進による保険者の支援、介護給付費審査支払業務、障害者自立支援給付費支払事業の充実・強化及び苦情処理担当者の連携強化、苦情・相談への対応の充実等により介護サービスの質的向上を図った。

第6 新規事業への対応

本会中期事業計画に基づき、保険者のニーズに対応した事業の実施に努めるとともに、平成24年3月請求分より実施された診療報酬等早期支払の適正な執行に努めた。

第7 成果を生み出す組織体制・事務運営等の整備

保険者に満足してもらえる成果を生み出す事業を効率的に進めるため、平成24年度本会事業計画の重点目標の取り組み方針に沿って事務局体制の整備、職員の資質の向上、事務運営の改善に努めた。

(1)平成 24 年度栃木県国民健康保険団体連合会一般会計歳入歳出決算書

(歳 入)

(単位：円)

款	項	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	予算現額と収入済額との比較
1 負 担 金		74,804,000	73,456,324	73,456,324	0	0	△1,347,676
	1 負 担 金	74,804,000	73,456,324	73,456,324	0	0	△1,347,676
2 国庫支出金		3,000	10,365,000	10,365,000	0	0	10,362,000
	1 国庫補助金	2,000	10,365,000	10,365,000	0	0	10,363,000
	2 国庫交付金	1,000	0	0	0	0	△1,000
3 県 支 出 金		919,000	734,189	734,189	0	0	△184,811
	1 県 補 助 金	1,000	0	0	0	0	△1,000
	2 委 託 金	918,000	734,189	734,189	0	0	△183,811
4 中央会支出金		2,000	0	0	0	0	△2,000
	1 中央会支出金	2,000	0	0	0	0	△2,000
5 財 産 収 入		331,000	213,673	213,673	0	0	△117,327
	1 財産運用収入	330,000	213,673	213,673	0	0	△116,327
	2 財産売却収入	1,000	0	0	0	0	△1,000
6 特定資産収入		1,000	0	0	0	0	△1,000
	1 基金取崩収入	1,000	0	0	0	0	△1,000
7 特定資産運用収入		1,000	0	0	0	0	△1,000
	1 基金運用収入	1,000	0	0	0	0	△1,000
8 繰 入 金		168,487,000	133,428,004	133,428,004	0	0	△35,058,996
	1 他会計繰入金	127,438,000	104,014,552	104,014,552	0	0	△23,423,448
	2 積立金繰入金	41,049,000	29,413,452	29,413,452	0	0	△11,635,548
9 繰 越 金		1,000	518,168	518,168	0	0	517,168
	1 繰 越 金	1,000	518,168	518,168	0	0	517,168
10 諸 収 入		624,000	544,697	544,697	0	0	△79,303
	1 諸 収 入	624,000	544,697	544,697	0	0	△79,303
歳 入 合 計		245,173,000	219,260,055	219,260,055	0	0	△25,912,945

(歳 出)

(単位：円)

款	項	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額	予算現額と支出済額との比較
1 会 議 費		396,000	369,005	26,995	26,995
	1 会 議 費	396,000	369,005	26,995	26,995
2 総 務 費		202,583,000	184,171,173	18,411,827	18,411,827
	1 総務管理費	202,583,000	184,171,173	18,411,827	18,411,827
3 事 業 費		21,636,000	16,014,564	5,621,436	5,621,436
	1 事 業 費	21,632,000	16,014,564	5,617,436	5,617,436
	2 国保介護従事者 処遇改善基金事業費	4,000	0	4,000	4,000
4 特定資産支出		1,000	0	1,000	1,000
	1 基金繰入支出	1,000	0	1,000	1,000
5 積 立 金		7,505,000	7,377,809	127,191	127,191
	1 積 立 金	7,505,000	7,377,809	127,191	127,191
6 借入金償還金		304,000	147,779	156,221	156,221
	1 借入金償還金	304,000	147,779	156,221	156,221
7 諸 支 出 金		10,515,000	10,151,143	363,857	363,857
	1 諸 支 出 金	10,514,000	10,151,143	362,857	362,857
	2 償還金及び還付加算金	1,000	0	1,000	1,000
8 予 備 費		2,233,000	0	2,233,000	2,233,000
	1 予 備 費	2,233,000	0	2,233,000	2,233,000
歳 出 合 計		245,173,000	218,231,473	26,941,527	26,941,527

(2-1) 平成24年度栃木県国民健康保険団体連合会診療報酬審査支払特別会計
(業務勘定) 歳入歳出決算書

(歳入)

(単位：円)

款	項	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額と収入済額との比較
1 手数料		572,856,000	578,576,060	578,576,060	0	0	5,720,060
	1 手数料	570,855,000	576,443,690	576,443,690	0	0	5,588,690
	2 事務費	2,001,000	2,132,370	2,132,370	0	0	131,370
2 保険者事務等共同電算処理事業手数料及び負担金並びに委託料		420,932,000	419,187,560	419,187,560	0	0	△1,744,440
	1 手数料	400,544,000	398,800,760	398,800,760	0	0	△1,743,240
	2 負担金	1,000	0	0	0	0	△1,000
	3 業務委託料	20,387,000	20,386,800	20,386,800	0	0	△200
3 国庫支出金		2,000	20,144,600	20,144,600	0	0	20,142,600
	1 国庫補助金	2,000	20,144,600	20,144,600	0	0	20,142,600
4 県支出金		631,000	630,000	630,000	0	0	△1,000
	1 県補助金	1,000	0	0	0	0	△1,000
	2 委託金	630,000	630,000	630,000	0	0	0
5 財産収入		2,000	0	0	0	0	△2,000
	1 財産運用収入	1,000	0	0	0	0	△1,000
	2 財産売却収入	1,000	0	0	0	0	△1,000
6 繰入金		2,097,000	2,084,952	2,084,952	0	0	△12,048
	1 他会計繰入金	2,093,000	2,084,952	2,084,952	0	0	△8,048
	2 積立金繰入金	4,000	0	0	0	0	△4,000
7 繰越金		60,000,000	210,320,713	210,320,713	0	0	150,320,713
	1 繰越金	60,000,000	210,320,713	210,320,713	0	0	150,320,713
8 諸収入		1,633,000	1,719,189	1,719,189	0	0	86,189
	1 諸収入	1,633,000	1,719,189	1,719,189	0	0	86,189
歳入合計		1,058,153,000	1,232,663,074	1,232,663,074	0	0	174,510,074

(歳出)

(単位：円)

款	項	予算現額	支出済額	不用額	予算現額と支出済額との比較
1 総務費		447,549,000	370,185,728	77,363,272	77,363,272
	1 審査支払管理費	447,549,000	370,185,728	77,363,272	77,363,272
2 審査委員会費		55,157,000	54,283,366	873,634	873,634
	1 審査委員会費	55,157,000	54,283,366	873,634	873,634
3 保険者事務等共同電算処理事業費		346,314,000	262,965,918	83,348,082	83,348,082
	1 業務管理費	346,314,000	262,965,918	83,348,082	83,348,082
4 特別審査負担金		2,953,000	2,736,070	216,930	216,930
	1 特別審査負担金	2,953,000	2,736,070	216,930	216,930
5 レセプト電算処理システム特別分担金		49,489,000	46,717,830	2,771,170	2,771,170
	1 レセプト電算処理システム特別分担金	49,489,000	46,717,830	2,771,170	2,771,170
6 積立金		86,972,000	86,261,390	710,610	710,610
	1 積立金	86,972,000	86,261,390	710,610	710,610
7 レセプト電算処理システム費		1,000	0	1,000	1,000
	1 レセプト電算処理システム費	1,000	0	1,000	1,000
8 予備費		69,718,000	0	69,718,000	69,718,000
	1 予備費	69,718,000	0	69,718,000	69,718,000
歳出合計		1,058,153,000	823,150,302	235,002,698	235,002,698

(2-2) 平成24年度栃木県国民健康保険団体連合会診療報酬審査支払特別会計
(国民健康保険診療報酬支払勘定) 歳入歳出決算書

(歳入)

(単位：円)

款	項	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額と収入済額との比較
1 国民健康保険		145,794,070,000	141,017,890,135	141,017,890,135	0	0	△4,776,179,865
診療報酬受入金	1 国民健康保険 診療報酬受入金	145,794,070,000	141,017,890,135	141,017,890,135	0	0	△4,776,179,865
2 繰入金		2,364,861,000	2,330,764,720	2,330,764,720	0	0	△34,096,280
	1 他会計繰入金	2,364,861,000	2,330,764,720	2,330,764,720	0	0	△34,096,280
3 繰越金		20,771,000	29,479,034	29,479,034	0	0	8,708,034
	1 繰越金	20,771,000	29,479,034	29,479,034	0	0	8,708,034
4 諸収入		3,000	0	0	0	0	△3,000
	1 諸収入	3,000	0	0	0	0	△3,000
5 借入金		1,000	0	0	0	0	△1,000
	1 借入金	1,000	0	0	0	0	△1,000
歳入合計		148,179,706,000	143,378,133,889	143,378,133,889	0	0	△4,801,572,111

(歳出)

(単位：円)

款	項	予算現額	支出済額	不用額	予算現額と支出済額との比較
1 国民健康保険		148,158,929,000	143,348,387,705	4,810,541,295	4,810,541,295
診療報酬支出金	1 国民健康保険 診療報酬支出金	148,158,929,000	143,348,387,705	4,810,541,295	4,810,541,295
2 借入金償還金		2,000	0	2,000	2,000
	1 借入金償還金	2,000	0	2,000	2,000
3 繰出金		2,000	0	2,000	2,000
	1 繰出金	2,000	0	2,000	2,000
4 予備費		20,773,000	0	20,773,000	20,773,000
	1 予備費	20,773,000	0	20,773,000	20,773,000
歳出合計		148,179,706,000	143,348,387,705	4,831,318,295	4,831,318,295

(2-3) 平成24年度栃木県国民健康保険団体連合会診療報酬審査支払特別会計
(老人保健診療報酬支払勘定) 歳入歳出決算書

(歳入)

(単位：円)

款	項	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額と収入済額との比較
1 老人保健診療		0	0	0	0	0	0
報酬受入金	1 老人保健診療 報酬受入金	0	0	0	0	0	0
2 繰越金		5,604,000	5,603,740	5,603,740	0	0	△260
	1 繰越金	5,604,000	5,603,740	5,603,740	0	0	△260
歳入合計		5,604,000	5,603,740	5,603,740	0	0	△260

(歳出)

(単位：円)

款	項	予算現額	支出済額	不用額	予算現額と支出済額との比較
1 老人保健診療		0	0	0	0
報酬支出金	1 老人保健診療 報酬支出金	0	0	0	0
2 借入金償還金		0	0	0	0
	1 借入金償還金	0	0	0	0
3 繰出金		5,604,000	5,603,740	260	260
	1 繰出金	5,604,000	5,603,740	260	260
歳出合計		5,604,000	5,603,740	260	260

(2-4) 平成24年度栃木県国民健康保険団体連合会診療報酬審査支払特別会計
(公費負担医療に関する診療報酬支払勘定) 歳入歳出決算書

(歳入)

(単位：円)

款	項	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額と収入済額との比較
1 公費負担医療 受入金		3,064,524,000	2,882,311,765	2,882,311,765	0	0	△182,212,235
	1 公費負担医療 受入金	3,064,524,000	2,882,311,765	2,882,311,765	0	0	△182,212,235
2 繰越金		1,282,000	1,475,652	1,475,652	0	0	193,652
	1 繰越金	1,282,000	1,475,652	1,475,652	0	0	193,652
3 諸収入		2,000	0	0	0	0	△2,000
	1 諸収入	2,000	0	0	0	0	△2,000
歳入合計		3,065,808,000	2,883,787,417	2,883,787,417	0	0	△182,020,583

(歳出)

(単位：円)

款	項	予算現額	支出済額	不用額	予算現額と支出済額との比較
1 公費負担医療 支出金		3,064,507,000	2,882,315,588	182,191,412	182,191,412
	1 公費負担医療 支出金	3,064,507,000	2,882,315,588	182,191,412	182,191,412
2 借入金償還金		1,000	0	1,000	1,000
	1 借入金償還金	1,000	0	1,000	1,000
3 繰出金		1,000	0	1,000	1,000
	1 繰出金	1,000	0	1,000	1,000
4 子備費		1,299,000	0	1,299,000	1,299,000
	1 子備費	1,299,000	0	1,299,000	1,299,000
歳出合計		3,065,808,000	2,882,315,588	183,492,412	183,492,412

(2-5) 平成24年度栃木県国民健康保険団体連合会診療報酬審査支払特別会計
(出産育児一時金等に関する支払勘定) 歳入歳出決算書

(歳入)

(単位：円)

款	項	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額と収入済額との比較
1 出産育児一時 金等受入金		5,035,781,000	5,026,414,390	5,026,414,390	0	0	△9,366,610
	1 出産育児一時 金等受入金	5,035,781,000	5,026,414,390	5,026,414,390	0	0	△9,366,610
2 県支出金		1,000	0	0	0	0	△1,000
	1 県補助金	1,000	0	0	0	0	△1,000
3 繰越金		1,000	0	0	0	0	△1,000
	1 繰越金	1,000	0	0	0	0	△1,000
4 諸収入		3,000	0	0	0	0	△3,000
	1 諸収入	3,000	0	0	0	0	△3,000
5 借入金		1,000	0	0	0	0	△1,000
	1 借入金	1,000	0	0	0	0	△1,000
歳入合計		5,035,787,000	5,026,414,390	5,026,414,390	0	0	△9,372,610

(歳出)

(単位：円)

款	項	予算現額	支出済額	不用額	予算現額と支出済額との比較
1 出産育児一時 金等支出金		5,035,780,000	5,026,414,390	9,365,610	9,365,610
	1 出産育児一時 金等支出金	5,035,780,000	5,026,414,390	9,365,610	9,365,610
2 借入金償還金		2,000	0	2,000	2,000
	1 借入金償還金	2,000	0	2,000	2,000
3 子備費		5,000	0	5,000	5,000
	1 子備費	5,000	0	5,000	5,000
歳出合計		5,035,787,000	5,026,414,390	9,372,610	9,372,610

(3-1) 平成24年度栃木県国民健康保険団体連合会後期高齢者医療事業関係業務 特別会計（業務勘定）歳入歳出決算書

(歳入)

(単位：円)

款	項	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額と収入済額との比較
1 手数料		488,311,000	499,165,299	499,165,299	0	0	10,854,299
	1 手数料	488,311,000	499,165,299	499,165,299	0	0	10,854,299
2 後期高齢者医療事務代行業務委託料		111,913,000	98,473,465	98,473,465	0	0	△13,439,535
	1 業務委託料	111,913,000	98,473,465	98,473,465	0	0	△13,439,535
3 国庫支出金		1,000	2,240,400	2,240,400	0	0	2,239,400
	1 国庫補助金	1,000	2,240,400	2,240,400	0	0	2,239,400
4 県支出金		1,000	0	0	0	0	△1,000
	1 県補助金	1,000	0	0	0	0	△1,000
5 財産収入		2,000	0	0	0	0	△2,000
	1 財産運用収入	1,000	0	0	0	0	△1,000
	2 財産売払収入	1,000	0	0	0	0	△1,000
6 繰入金		15,780,000	15,773,245	15,773,245	0	0	△6,755
	1 他会計繰入金	2,000	0	0	0	0	△2,000
	2 積立金繰入金	15,778,000	15,773,245	15,773,245	0	0	△4,755
7 繰越金		10,000,000	94,526,476	94,526,476	0	0	84,526,476
	1 繰越金	10,000,000	94,526,476	94,526,476	0	0	84,526,476
8 諸収入		1,121,000	1,364,155	1,364,155	0	0	243,155
	1 諸収入	1,121,000	1,364,155	1,364,155	0	0	243,155
歳入合計		627,129,000	711,543,040	711,543,040	0	0	84,414,040

(歳出)

(単位：円)

款	項	予算現額	支出済額	不用額	予算現額と支出済額との比較
1 総務費		412,391,000	370,245,249	42,145,751	42,145,751
	1 審査支払管理費	412,391,000	370,245,249	42,145,751	42,145,751
2 審査委員会費		35,054,000	34,707,781	346,219	346,219
	1 審査委員会費	35,054,000	34,707,781	346,219	346,219
3 事務代行業務費		112,179,000	90,671,577	21,507,423	21,507,423
	1 業務管理費	112,179,000	90,671,577	21,507,423	21,507,423
4 特別審査負担金		1,661,000	1,453,930	207,070	207,070
	1 特別審査負担金	1,661,000	1,453,930	207,070	207,070
5 レセプト電算処理システム特別分担金		1,000	0	1,000	1,000
	1 レセプト電算処理システム特別分担金	1,000	0	1,000	1,000
6 積立金		61,683,000	61,262,148	420,852	420,852
	1 積立金	61,683,000	61,262,148	420,852	420,852
7 レセプト電算処理システム費		1,000	0	1,000	1,000
	1 レセプト電算処理システム費	1,000	0	1,000	1,000
8 予備費		4,159,000	0	4,159,000	4,159,000
	1 予備費	4,159,000	0	4,159,000	4,159,000
歳出合計		627,129,000	558,340,685	68,788,315	68,788,315

(3-2) 平成24年度栃木県国民健康保険団体連合会後期高齢者医療事業関係業務特別会計
(後期高齢者医療診療報酬支払勘定) 歳入歳出決算書

(歳入)

(単位：円)

款	項	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額と収入済額との比較
1 後期高齢者医療診療報酬受入金		175,073,333,000	170,231,290,970	170,231,290,970	0	0	△4,842,042,030
	1 後期高齢者医療診療報酬受入金	175,073,333,000	170,231,290,970	170,231,290,970	0	0	△4,842,042,030
2 繰越金		9,970,000	9,857,311	9,857,311	0	0	△112,689
	1 繰越金	9,970,000	9,857,311	9,857,311	0	0	△112,689
3 諸収入		3,000	0	0	0	0	△3,000
	1 諸収入	3,000	0	0	0	0	△3,000
4 借入金		1,000	0	0	0	0	△1,000
	1 借入金	1,000	0	0	0	0	△1,000
歳入合計		175,083,307,000	170,241,148,281	170,241,148,281	0	0	△4,842,158,719

(歳出)

(単位：円)

款	項	予算現額	支出済額	不用額	予算現額と支出済額との比較
1 後期高齢者医療診療報酬支出金		175,073,331,000	170,231,297,294	4,842,033,706	4,842,033,706
	1 後期高齢者医療診療報酬支出金	175,073,331,000	170,231,297,294	4,842,033,706	4,842,033,706
2 借入金償還金		2,000	0	2,000	2,000
	1 借入金償還金	2,000	0	2,000	2,000
3 繰出金		2,000	0	2,000	2,000
	1 繰出金	2,000	0	2,000	2,000
4 予備費		9,972,000	0	9,972,000	9,972,000
	1 予備費	9,972,000	0	9,972,000	9,972,000
歳出合計		175,083,307,000	170,231,297,294	4,852,009,706	4,852,009,706

(3-3) 平成24年度栃木県国民健康保険団体連合会後期高齢者医療事業関係業務特別会計
(公費負担医療に関する診療報酬支払勘定) 歳入歳出決算書

(歳入)

(単位：円)

款	項	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額と収入済額との比較
1 公費負担医療受入金		565,072,000	539,933,634	539,933,634	0	0	△25,138,366
	1 公費負担医療受入金	565,072,000	539,933,634	539,933,634	0	0	△25,138,366
2 繰越金		1,000,000	1,000,284	1,000,284	0	0	284
	1 繰越金	1,000,000	1,000,284	1,000,284	0	0	284
3 諸収入		2,000	0	0	0	0	△2,000
	1 諸収入	2,000	0	0	0	0	△2,000
歳入合計		566,074,000	540,933,918	540,933,918	0	0	△25,140,082

(歳出)

(単位：円)

款	項	予算現額	支出済額	不用額	予算現額と支出済額との比較
1 公費負担医療支出金		565,059,000	539,933,557	25,125,443	25,125,443
	1 公費負担医療支出金	565,059,000	539,933,557	25,125,443	25,125,443
2 借入金償還金		1,000	0	1,000	1,000
	1 借入金償還金	1,000	0	1,000	1,000
3 繰出金		1,000	0	1,000	1,000
	1 繰出金	1,000	0	1,000	1,000
4 予備費		1,013,000	0	1,013,000	1,013,000
	1 予備費	1,013,000	0	1,013,000	1,013,000
歳出合計		566,074,000	539,933,557	26,140,443	26,140,443

(4) 平成24年度栃木県国民健康保険団体連合会保険財政共同安定化事業・
高額医療費共同事業特別会計歳入歳出決算書

(歳入)

(単位：円)

款	項	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額と収入済額との比較
1 共同事業事務費拠出金		5,182,000	5,179,000	5,179,000	0	0	△3,000
	1 共同事業事務費拠出金	5,182,000	5,179,000	5,179,000	0	0	△3,000
2 共同事業拠出金		24,048,587,000	23,376,645,894	23,376,645,894	0	0	△671,941,106
	1 共同事業拠出金	24,048,587,000	23,376,645,894	23,376,645,894	0	0	△671,941,106
3 国庫支出金		28,522,000	29,688,000	29,688,000	0	0	1,166,000
	1 国庫補助金	28,522,000	29,688,000	29,688,000	0	0	1,166,000
4 県支出金		1,000	0	0	0	0	△1,000
	1 県補助金	1,000	0	0	0	0	△1,000
5 超高額医療費共同事業交付金		83,712,000	81,259,877	81,259,877	0	0	△2,452,123
	1 超高額医療費共同事業交付金	83,712,000	81,259,877	81,259,877	0	0	△2,452,123
6 繰入金		2,000	0	0	0	0	△2,000
	1 他会計繰入金	2,000	0	0	0	0	△2,000
7 繰越金		4,000,000	5,216,879	5,216,879	0	0	1,216,879
	1 繰越金	4,000,000	5,216,879	5,216,879	0	0	1,216,879
8 諸収入		33,000	73,086	73,086	0	0	40,086
	1 諸収入	33,000	73,086	73,086	0	0	40,086
歳入合計		24,170,039,000	23,498,062,736	23,498,062,736	0	0	△671,976,264

(歳出)

(単位：円)

款	項	予算現額	支出済額	不用額	予算現額と支出済額との比較
1 総務費		7,901,000	7,293,272	607,728	607,728
	1 総務管理費	7,901,000	7,293,272	607,728	607,728
2 交付金支出金		24,072,302,000	23,400,360,039	671,941,961	671,941,961
	1 交付金支出金	24,072,302,000	23,400,360,039	671,941,961	671,941,961
3 超高額医療費共同事業拠出金		88,712,000	86,067,729	2,644,271	2,644,271
	1 超高額医療費共同事業拠出金	88,712,000	86,067,729	2,644,271	2,644,271
4 借入金償還金		2,000	0	2,000	2,000
	1 借入金償還金	2,000	0	2,000	2,000
5 積立金		559,000	558,200	800	800
	1 積立金	559,000	558,200	800	800
6 予備費		563,000	0	563,000	563,000
	1 予備費	563,000	0	563,000	563,000
歳出合計		24,170,039,000	23,494,279,240	675,759,760	675,759,760

(5) 平成24年度栃木県国民健康保険団体連合会第三者行為損害賠償求償事務共同処理事業特別会計歳入歳出決算書

(歳入)

(単位：円)

款	項	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額と収入済額との比較
1 求償額受入金		487,091,000	423,969,223	423,969,223	0	0	△63,121,777
	1 求償額受入金	487,091,000	423,969,223	423,969,223	0	0	△63,121,777
2 共同事業拠出金及び手数料		11,121,000	10,011,985	10,011,985	0	0	△1,109,015
	1 共同事業拠出金及び手数料	11,121,000	10,011,985	10,011,985	0	0	△1,109,015
3 国庫支出金		1,000	840,000	840,000	0	0	839,000
	1 国庫補助金	1,000	840,000	840,000	0	0	839,000
4 県支出金		1,000	0	0	0	0	△1,000
	1 県補助金	1,000	0	0	0	0	△1,000
5 繰入金		1,000	0	0	0	0	△1,000
	1 他会計繰入金	1,000	0	0	0	0	△1,000
6 繰越金		4,500,000	6,093,509	6,093,509	0	0	1,593,509
	1 繰越金	4,500,000	6,093,509	6,093,509	0	0	1,593,509
7 諸収入		3,000	8,636	8,636	0	0	5,636
	1 諸収入	3,000	8,636	8,636	0	0	5,636
歳入合計		502,718,000	440,923,353	440,923,353	0	0	△61,794,647

(歳出)

(単位：円)

款	項	予算現額	支出済額	不用額	予算現額と支出済額との比較
1 総務費		12,026,000	11,533,689	492,311	492,311
	1 総務管理費	12,026,000	11,533,689	492,311	492,311
2 求償額支出金		487,091,000	423,969,223	63,121,777	63,121,777
	1 求償額支出金	487,091,000	423,969,223	63,121,777	63,121,777
3 借入金償還金		1,000	0	1,000	1,000
	1 借入金償還金	1,000	0	1,000	1,000
4 予備費		3,600,000	0	3,600,000	3,600,000
	1 予備費	3,600,000	0	3,600,000	3,600,000
歳出合計		502,718,000	435,502,912	67,215,088	67,215,088

(6-1) 平成24年度栃木県国民健康保険団体連合会介護保険事業関係業務 特別会計（業務勘定）歳入歳出決算書

(歳入)

(単位：円)

款	項	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額と収入済額との比較
1手数料		140,370,000	141,676,887	141,676,887	0	0	1,306,887
	1手数料	140,370,000	141,676,887	141,676,887	0	0	1,306,887
2国庫支出金		182,000	2,906,000	2,906,000	0	0	2,724,000
	1国庫補助金	182,000	2,906,000	2,906,000	0	0	2,724,000
3県支出金		1,321,000	1,277,350	1,277,350	0	0	△43,650
	1県補助金	1,000	0	0	0	0	△1,000
	2県委託料	1,320,000	1,277,350	1,277,350	0	0	△42,650
4中央会支出金		2,000	0	0	0	0	△2,000
	1中央会支出金	2,000	0	0	0	0	△2,000
5負担金		4,236,000	4,265,958	4,265,958	0	0	29,958
	1負担金	4,236,000	4,265,958	4,265,958	0	0	29,958
6主治医意見書料受入金		350,976,000	332,556,161	332,556,161	0	0	△18,419,839
	1主治医意見書料受入金	350,976,000	332,556,161	332,556,161	0	0	△18,419,839
7介護職員処遇改善交付金受入金		355,493,000	174,899,863	174,899,863	0	0	△180,593,137
	1介護職員処遇改善交付金受入金	355,493,000	174,899,863	174,899,863	0	0	△180,593,137
8財産収入		78,000	76,928	76,928	0	0	△1,072
	1積立金運用収入	77,000	76,928	76,928	0	0	△72
	2物品売払収入	1,000	0	0	0	0	△1,000
9繰入金		75,000	70,800	70,800	0	0	△4,200
	1一般会計繰入金	1,000	0	0	0	0	△1,000
	2積立金繰入金	3,000	0	0	0	0	△3,000
	3他会計繰入金	71,000	70,800	70,800	0	0	△200
10繰越金		20,000,000	85,137,860	85,137,860	0	0	65,137,860
	1繰越金	20,000,000	85,137,860	85,137,860	0	0	65,137,860
11諸収入		311,000	281,214	281,214	0	0	△29,786
	1諸収入	311,000	281,214	281,214	0	0	△29,786
12借入金		1,000	0	0	0	0	△1,000
	1借入金	1,000	0	0	0	0	△1,000
歳入合計		873,045,000	743,149,021	743,149,021	0	0	△129,895,979

(歳出)

(単位：円)

款	項	予算現額	支出済額	不用額	予算現額と支出済額との比較
1総務費		120,461,000	113,322,678	7,138,322	7,138,322
	1審査支払管理費	119,437,000	112,489,967	6,947,033	6,947,033
	2介護サービス苦情処理管理費	1,024,000	832,711	191,289	191,289
2審査委員会費		1,333,000	1,297,497	35,503	35,503
	1審査委員会費	1,333,000	1,297,497	35,503	35,503
3介護サービス苦情処理委員費		6,174,000	5,342,199	831,801	831,801
	1介護サービス苦情処理委員費	6,174,000	5,342,199	831,801	831,801
4国保中央会負担金		18,395,000	17,903,256	491,744	491,744
	1国保中央会負担金	18,395,000	17,903,256	491,744	491,744
5主治医意見書料支出金		350,976,000	332,556,161	18,419,839	18,419,839
	1主治医意見書料支出金	350,976,000	332,556,161	18,419,839	18,419,839
6介護職員処遇改善交付金支出金		355,492,000	174,899,863	180,592,137	180,592,137
	1介護職員処遇改善交付金支出金	355,492,000	174,899,863	180,592,137	180,592,137
7積立金		5,024,000	4,963,394	60,606	60,606
	1積立金	5,024,000	4,963,394	60,606	60,606
8借入金償還金		3,000	0	3,000	3,000
	1借入金償還金	3,000	0	3,000	3,000
9諸支出金		5,000	0	5,000	5,000
	1諸支出金	4,000	0	4,000	4,000
	2償還金及び還付加算金	1,000	0	1,000	1,000
10予備費		15,182,000	0	15,182,000	15,182,000
	1予備費	15,182,000	0	15,182,000	15,182,000
歳出合計		873,045,000	650,285,048	222,759,952	222,759,952

(6-2) 平成24年度栃木県国民健康保険団体連合会介護保険事業関係業務 特別会計（介護給付費支払勘定）歳入歳出決算書

(歳入)

(単位：円)

款	項	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額と収入済額との比較
1 介護給付費受入金		108,883,371,000	107,798,444,516	107,798,444,516	0	0	△1,084,926,484
	1 介護給付費受入金	108,883,371,000	107,798,444,516	107,798,444,516	0	0	△1,084,926,484
2 繰越金		642,000	641,458	641,458	0	0	△542
	1 繰越金	642,000	641,458	641,458	0	0	△542
3 諸収入		3,000	0	0	0	0	△3,000
	1 諸収入	3,000	0	0	0	0	△3,000
4 借入金		1,000	0	0	0	0	△1,000
	1 借入金	1,000	0	0	0	0	△1,000
歳入合計		108,884,017,000	107,799,085,974	107,799,085,974	0	0	△1,084,931,026

(歳出)

(単位：円)

款	項	予算現額	支出済額	不用額	予算現額と支出済額との比較
1 介護給付費支出金		108,883,368,000	107,798,444,516	1,084,923,484	1,084,923,484
	1 介護給付費支出金	108,883,368,000	107,798,444,516	1,084,923,484	1,084,923,484
2 借入金償還金		3,000	0	3,000	3,000
	1 借入金償還金	3,000	0	3,000	3,000
3 繰出金		1,000	0	1,000	1,000
	1 繰出金	1,000	0	1,000	1,000
4 予備費		645,000	0	645,000	645,000
	1 予備費	645,000	0	645,000	645,000
歳出合計		108,884,017,000	107,798,444,516	1,085,572,484	1,085,572,484

(6-3) 平成24年度栃木県国民健康保険団体連合会介護保険事業関係業務 特別会計（公費負担医療等に関する報酬等支払勘定）歳入歳出決算書

(歳入)

(単位：円)

款	項	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額と収入済額との比較
1 公費負担医療等受入金		1,034,653,000	912,971,872	912,971,872	0	0	△121,681,128
	1 公費負担医療等受入金	1,034,653,000	912,971,872	912,971,872	0	0	△121,681,128
2 繰越金		74,000	74,847	74,847	0	0	847
	1 繰越金	74,000	74,847	74,847	0	0	847
3 諸収入		3,000	0	0	0	0	△3,000
	1 諸収入	3,000	0	0	0	0	△3,000
4 借入金		1,000	0	0	0	0	△1,000
	1 借入金	1,000	0	0	0	0	△1,000
歳入合計		1,034,731,000	913,046,719	913,046,719	0	0	△121,684,281

(歳出)

(単位：円)

款	項	予算現額	支出済額	不用額	予算現額と支出済額との比較
1 公費負担医療等支出金		1,034,639,000	912,971,872	121,667,128	121,667,128
	1 公費負担医療等支出金	1,034,639,000	912,971,872	121,667,128	121,667,128
2 借入金償還金		3,000	0	3,000	3,000
	1 借入金償還金	3,000	0	3,000	3,000
3 繰出金		71,000	70,800	200	200
	1 繰出金	71,000	70,800	200	200
4 予備費		18,000	0	18,000	18,000
	1 予備費	18,000	0	18,000	18,000
歳出合計		1,034,731,000	913,042,672	121,688,328	121,688,328

(7-1) 平成24年度栃木県国民健康保険団体連合会障害者自立支援事業関係
業務特別会計（業務勘定）歳入歳出決算書

(歳入)

(単位：円)

款	項	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額と収入済額との比較
1 手数料		32,940,000	33,721,400	33,721,400	0	0	781,400
	1 給付費等支払手数料	31,265,000	32,572,200	32,572,200	0	0	1,307,200
	2 電子証明書発行手数料受入金	1,675,000	1,149,200	1,149,200	0	0	△525,800
2 国保中央会 出資金		0	0	0	0	0	0
	1 国保中央会 交付金	0	0	0	0	0	0
3 負担金		2,000	0	0	0	0	△2,000
	1 負担金	2,000	0	0	0	0	△2,000
4 繰入金		2,000	0	0	0	0	△2,000
	1 一般会計繰入金	1,000	0	0	0	0	△1,000
	2 積立金繰入金	1,000	0	0	0	0	△1,000
5 繰越金		2,000,000	9,898,205	9,898,205	0	0	7,898,205
	1 繰越金	2,000,000	9,898,205	9,898,205	0	0	7,898,205
6 諸収入		632,000	438,452	438,452	0	0	△193,548
	1 諸収入	632,000	438,452	438,452	0	0	△193,548
7 国庫支出金		1,000	0	0	0	0	△1,000
	1 国庫補助金	1,000	0	0	0	0	△1,000
歳入合計		35,577,000	44,058,057	44,058,057	0	0	8,481,057

(歳出)

(単位：円)

款	項	予算現額	支出済額	不用額	予算現額と支出済額との比較
1 総務費		17,634,000	16,112,171	1,521,829	1,521,829
	1 支払管理費	15,959,000	14,978,571	980,429	980,429
	2 電子証明書発行 手数料支出金	1,675,000	1,133,600	541,400	541,400
2 国保中央会 負担金		8,428,000	8,427,978	22	22
	1 国保中央会負担金	8,428,000	8,427,978	22	22
3 積立金		6,525,000	6,524,000	1,000	1,000
	1 積立金	6,525,000	6,524,000	1,000	1,000
4 借入金償還金		3,000	0	3,000	3,000
	1 借入金償還金	3,000	0	3,000	3,000
5 諸支出金		2,000	0	2,000	2,000
	1 諸支出金	1,000	0	1,000	1,000
	2 償還金及び 還付加算金	1,000	0	1,000	1,000
6 予備費		2,985,000	0	2,985,000	2,985,000
	1 予備費	2,985,000	0	2,985,000	2,985,000
歳出合計		35,577,000	31,064,149	4,512,851	4,512,851

(7-2) 平成24年度栃木県国民健康保険団体連合会障害者自立支援事業関係業務
特別会計（障害介護給付費支払勘定）歳入歳出決算書

(歳入)

(単位：円)

款	項	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額と収入済額との比較
1 障害介護給付費受入金		24,551,717,000	24,013,539,913	24,013,539,913	0	0	△538,177,087
	1 障害介護給付費受入金	24,551,717,000	24,013,539,913	24,013,539,913	0	0	△538,177,087
2 繰越金		21,000	21,404	21,404	0	0	404
	1 繰越金	21,000	21,404	21,404	0	0	404
3 諸収入		2,000	0	0	0	0	△2,000
	1 諸収入	2,000	0	0	0	0	△2,000
4 借入金		1,000	0	0	0	0	△1,000
	1 借入金	1,000	0	0	0	0	△1,000
歳入合計		24,551,741,000	24,013,561,317	24,013,561,317	0	0	△538,179,683

(歳出)

(単位：円)

款	項	予算現額	支出済額	不用額	予算現額と支出済額との比較
1 障害介護給付費支出金		24,551,714,000	24,013,539,913	538,174,087	538,174,087
	1 障害介護給付費支出金	24,551,714,000	24,013,539,913	538,174,087	538,174,087
2 借入金償還金		3,000	0	3,000	3,000
	1 借入金償還金	3,000	0	3,000	3,000
3 予備費		24,000	0	24,000	24,000
	1 予備費	24,000	0	24,000	24,000
歳出合計		24,551,741,000	24,013,539,913	538,201,087	538,201,087

(7-3) 平成24年度栃木県国民健康保険団体連合会障害者自立支援事業関係業務
特別会計（障害児給付費支払勘定）歳入歳出決算書

(歳入)

(単位：円)

款	項	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額と収入済額との比較
1 障害児施設給付費受入金		0	0	0	0	0	0
	1 障害児施設給付費受入金	0	0	0	0	0	0
2 繰越金		1,000	0	0	0	0	△1,000
	1 繰越金	1,000	0	0	0	0	△1,000
3 諸収入		2,000	0	0	0	0	△2,000
	1 諸収入	2,000	0	0	0	0	△2,000
4 借入金		1,000	0	0	0	0	△1,000
	1 借入金	1,000	0	0	0	0	△1,000
5 障害児給付費受入金		2,048,437,000	1,170,421,940	1,170,421,940	0	0	△878,015,060
	1 障害児給付費受入金	2,048,437,000	1,170,421,940	1,170,421,940	0	0	△878,015,060
歳入合計		2,048,441,000	1,170,421,940	1,170,421,940	0	0	△878,019,060

(歳出)

(単位：円)

款	項	予算現額	支出済額	不用額	予算現額と支出済額との比較
1 障害児施設給付費支出金		0	0	0	0
	1 障害児施設給付費支出金	0	0	0	0
2 借入金償還金		3,000	0	3,000	3,000
	1 借入金償還金	3,000	0	3,000	3,000
3 予備費		4,000	0	4,000	4,000
	1 予備費	4,000	0	4,000	4,000
4 障害児給付費支出金		2,048,434,000	1,170,421,940	878,012,060	878,012,060
	1 障害児給付費支出金	2,048,434,000	1,170,421,940	878,012,060	878,012,060
歳出合計		2,048,441,000	1,170,421,940	878,019,060	878,019,060

(8) 平成24年度栃木県国民健康保険団体連合会特定健診保健指導費用決済
業務特別会計歳入歳出決算書

(歳入)

(単位：円)

款	項	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額と収入済額との比較
1 費用決済		1,860,669,000	1,079,706,593	1,079,706,593	0	0	△780,962,407
業務受入金	1 費用決済業務受入金	1,860,669,000	1,079,706,593	1,079,706,593	0	0	△780,962,407
2 費用決済業務拠出金及び手数料		65,818,000	55,315,792	55,315,792	0	0	△10,502,208
	1 費用決済業務拠出金及び手数料	65,818,000	55,315,792	55,315,792	0	0	△10,502,208
3 国庫支出金		1,000	0	0	0	0	△1,000
	1 国庫補助金	1,000	0	0	0	0	△1,000
4 県支出金		1,000	0	0	0	0	△1,000
	1 県補助金	1,000	0	0	0	0	△1,000
5 繰入金		1,000	0	0	0	0	△1,000
	1 他会計繰入金	1,000	0	0	0	0	△1,000
6 繰越金		1,000	248,336	248,336	0	0	247,336
	1 繰越金	1,000	248,336	248,336	0	0	247,336
7 諸収入		80,000	96,467	96,467	0	0	16,467
	1 諸収入	80,000	96,467	96,467	0	0	16,467
歳入合計		1,926,571,000	1,135,367,188	1,135,367,188	0	0	△791,203,812

(歳出)

(単位：円)

款	項	予算現額	支出済額	不用額	予算現額と支出済額との比較
1 特定健診保健指導費		51,904,000	45,772,093	6,131,907	6,131,907
	1 業務管理費	51,904,000	45,772,093	6,131,907	6,131,907
2 費用決済業務支出金		1,860,670,000	1,079,706,593	780,963,407	780,963,407
	1 費用決済業務支出金	1,860,670,000	1,079,706,593	780,963,407	780,963,407
3 積立金		11,225,000	9,224,642	2,000,358	2,000,358
	1 積立金	11,225,000	9,224,642	2,000,358	2,000,358
4 借入金償還金		9,000	3,813	5,187	5,187
	1 借入金償還金	9,000	3,813	5,187	5,187
5 予備費		2,763,000	0	2,763,000	2,763,000
	1 予備費	2,763,000	0	2,763,000	2,763,000
歳出合計		1,926,571,000	1,134,707,141	791,863,859	791,863,859

(9) 平成24年度栃木県国民健康保険団体連合会国保高齢者医療制度円滑導入 基金事業特別会計歳入歳出決算書

(歳入)

(単位：円)

款	項	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額と収入済額との比較
1 国庫支出金		2,459,298,000	2,459,295,268	2,459,295,268	0	0	△2,732
	1 国庫交付金	2,459,298,000	2,459,295,268	2,459,295,268	0	0	△2,732
2 特定資産収入		2,460,694,000	2,460,691,681	2,460,691,681	0	0	△2,319
	1 基金取崩収入	2,460,694,000	2,460,691,681	2,460,691,681	0	0	△2,319
3 預託金取崩収入		2,436,262,000	2,398,447,293	2,398,447,293	0	0	△37,814,707
	1 預託金取崩収入	2,436,262,000	2,398,447,293	2,398,447,293	0	0	△37,814,707
4 特定資産 運用収入		1,399,000	1,396,413	1,396,413	0	0	△2,587
	1 基金運用収入	1,399,000	1,396,413	1,396,413	0	0	△2,587
5 借入金		1,000	0	0	0	0	△1,000
	1 借入金	1,000	0	0	0	0	△1,000
6 諸収入		29,182,000	32,845,001	32,845,001	0	0	3,663,001
	1 諸収入	29,182,000	32,845,001	32,845,001	0	0	3,663,001
7 繰越金		4,000,000	5,350,894	5,350,894	0	0	1,350,894
	1 繰越金	4,000,000	5,350,894	5,350,894	0	0	1,350,894
歳入合計		7,390,836,000	7,358,026,550	7,358,026,550	0	0	△32,809,450

(歳出)

(単位：円)

款	項	予算現額	支出済額	不用額	予算現額と支出済額との比較
1 総務費		42,438,000	40,492,375	1,945,625	1,945,625
	1 総務管理費	42,438,000	40,492,375	1,945,625	1,945,625
2 事業費		2,517,266,000	2,516,351,149	914,851	914,851
	1 基金事業費	2,517,266,000	2,516,351,149	914,851	914,851
3 特定資産支出		2,460,695,000	2,460,691,681	3,319	3,319
	1 基金繰入支出	2,460,695,000	2,460,691,681	3,319	3,319
4 借入金償還金		2,000	0	2,000	2,000
	1 借入金償還金	2,000	0	2,000	2,000
5 諸支出金		1,000	0	1,000	1,000
	1 諸支出金	1,000	0	1,000	1,000
6 繰出金		2,366,951,000	2,332,849,672	34,101,328	34,101,328
	1 他会計繰出金	2,366,951,000	2,332,849,672	34,101,328	34,101,328
7 予備費		3,483,000	0	3,483,000	3,483,000
	1 予備費	3,483,000	0	3,483,000	3,483,000
歳出合計		7,390,836,000	7,350,384,877	40,451,123	40,451,123

(10) 平成24年度栃木県国民健康保険団体連合会職員厚生資金貸付金 特別会計歳入歳出決算書

(歳入)

(単位：円)

款	項	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額と収入済額との比較
1 積立金運用金		1,000	0	0	0	0	△1,000
	1 積立金運用金	1,000	0	0	0	0	△1,000
2 貸付金償還金		948,000	179,916	179,916	0	0	△768,084
	1 貸付金償還金	948,000	179,916	179,916	0	0	△768,084
3 繰越金		6,709,000	6,709,188	6,709,188	0	0	188
	1 繰越金	6,709,000	6,709,188	6,709,188	0	0	188
4 諸収入		1,000	500	500	0	0	△500
	1 諸収入	1,000	500	500	0	0	△500
歳入合計		7,659,000	6,889,604	6,889,604	0	0	△769,396

(歳出)

(単位：円)

款	項	予算現額	支出済額	不用額	予算現額と支出済額との比較
1 貸付金		6,000,000	0	6,000,000	6,000,000
	1 貸付金	6,000,000	0	6,000,000	6,000,000
2 運用金返還金		241,000	86,869	154,131	154,131
	1 返還金	241,000	86,869	154,131	154,131
3 予備費		1,418,000	0	1,418,000	1,418,000
	1 予備費	1,418,000	0	1,418,000	1,418,000
歳出合計		7,659,000	86,869	7,572,131	7,572,131



真岡市 星野 守

真岡市は、栃木県の南東部に位置し、東に連なる八溝山地、西に流れる鬼怒川を抱える自然環境豊かな都市です。

また、首都東京から100km圏内に属し、東京駅から東北新幹線を使えば約1時間40分の距離にあります。面積は、一六七・二一平方キロメートルで都市計画、工業団地造成、ほ場整備が進み、農業、工業、商業がバランスよく調和しております。

この地は、古くから芳賀地方の政治、経済、文化の中心的役割を担い、江戸時代には「真岡木綿」の特産地として全国にその名が知られました。近郊四町村が合併し、真岡市が誕生したのは昭和29年。平成21年3月には二宮町と合併し、今の形となりました。かつては農業を産業の基盤とするまちでしたが、現在は70社におよぶ企業が操業する大規模な工業団地を有するハイテク都市として発展を続けています。

現在は、「だれもが、ほっとできるまち真岡」そして「日本一安心なまち」を実現するため、市民生活を重視したまちづくりを進めています。

ころです。

人口は81,491人、28,843世帯（平成25年6月末）で国保加入は25,128人、12,817世帯で、加入率30・8%となっております。

さて、本市の国保運営協議会の会長を務められる星野守氏は旧二宮町で町議会議員を6年務められ、副議長等を歴任されました。また、平成21年4月に新真岡市の市議会議員に当選され、民生産業常任委員会委員長、建設常任委員会委員長を務められております。

国保運営協議会会長は平成23年5月に就任され現在に至っております。

国民健康保険は、国民皆保険のもと、地域保険として重要な役割を果たしてきましたが、最近の低迷する経済情勢や少子高齢化の進展などにより、大変厳しい状況下にあります。星野会長におかれましては、幅広い識見と経験を生かされ、本市の国保事業の安定的な運営に向け、ご活躍いただけることを期待しております。

「持続可能な国保制度に」

国保は、日本の医療制度の中核的役割を担い、地域住民の医療確保と健康増進に寄与してきました。しかしながら、国保財政は構造的要因もあり大変厳しい状況にあります。

国保を将来にわたり持続可能で安定的な制度とするため、社会保障制度改革の中で、必要な措置が講じられるよう望みます。

会長の一言

私の趣味と健康法

「熱中できる何か」を見つけよう



壬生町民生部住民課
参事兼課長 栗原 隆

「健康で暮らしたい」と願うのは万人に共通することではないでしょうか。しかしながら、常日頃から健康を気遣い何かに取り組んでいる人ばかりではないと思います。私もかつてはその一人で、若いころは健康について深く考えたこともなく、今まで大きな病気をしなかったのは、たまたま運が良かったのだと思います。

健康でいるためには、「バランスのとれた食事を心がける」、「適度な運動をする」、「精神の安定を保つ」...等といわれることがあります。私は他人に自慢できるような特別なことは実践しておりませんので、日頃行っていることを紹介したいと思います。

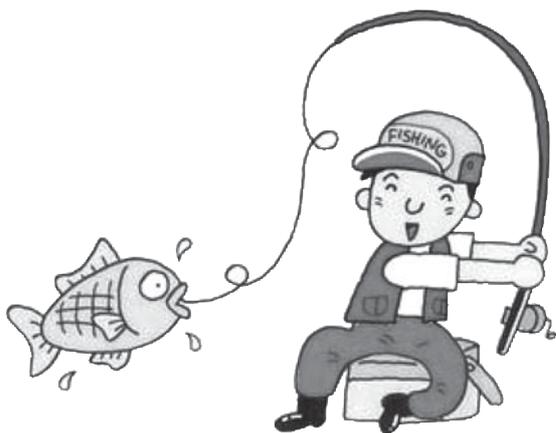
現代のストレス社会のなかで健康

を保っていくためには、私は日常生活の中に、何かに熱中できる時間を持つことだと思っています。幸いなことに、私の家は農業を営んでおられますので、休日には自然の中で農作業をしたり、また、夏場はアユ釣りのシーズンでありますので、時間を見つけては釣りに出かけたりしています。以前は県外まで足を延ばしたこともありましたが、最近は近くの河川で釣ることが多くなりました。職場の上司に教えていただいたのが始めたきっかけで、釣り歴は30年近くになります。アユがかかった時の感触が忘れられず、毎年その時期が来るのを楽しみにしています。長年続けている割には大漁の経験は少なく、全く釣れない日もたびたびあり

ます。そのような時は、仕掛けを変えたり、おとりを変えたり、場所を移動したりするなど工夫しています。が、なかなか釣果に結びつかず、奥の深さを感じています。釣れたアユは、私はあまり食べませんが、家族みんなが喜んで食べてくれるので、その顔見たさもあって、これまで続けているのではないかと思います。

自然の中で農作業やアユ釣りをしているときは、他のことが頭から離れ、心が落ち着き楽しい時間を過ごすことができますし、それがストレス解消につながっているのだと思います。

人生も後半を迎え、健康にこれまでに以上に気を使わなければならない年齢となりました。これからも充実





突撃ルポ 保険者みてる記

第101回 栃木市

豊かな自然環境や
歴史・文化を活かした
まちづくり

被保険者の加入状況

項目	
総人口	146,656人
総世帯数	54,535世帯
国保加入世帯数	23,775世帯
国保被保険者数	43,620人
国保被保険者加入率	29.74%

(平成 25 年 6 月 30 日現在)

栃木市は、東京から鉄道でも高速道路でも約1時間の距離にあります。天気の良い日には、市内の太平山から富士山が眺望でき、また、東京スカイツリーは、夜間に双眼鏡などで、ライトアップを綺麗に見ることができま

す。栃木市は、「渡良瀬遊水地」や「蔵の街並み」といった大変貴重な資源を有しています。今後においても、これらの豊かな自然環境や歴史・文化を活かした観光振興や農産物などを用いた地域ブランドの活性化によるまちづくりの推進を目指しています。

■ 生活環境部 保険医療課 ■

生活環境部保険医療課には、保険担当、医療給付担当の二つの担当があります。

保険担当には、国保年金チームとして、課長以下、職員9名、臨時職員9名が在籍しており、資格得喪・変更、保険給付、被保険者証の発行、レセプト点検など国保に関する業務と国民年金に関する業務を行っています。

高額療養費支給時期についての相談

高額療養費の支給方法は、原則として、被保険者の属する世帯主からの請求による償還払いのため、通常2、3か月を要しますが、被保険者の手続きが漏れなどにより、先に返戻の手続きが生じる場合などは、さらに期日を要することになります。

一部負担金の支払いは、被保険者にとつて負担となる場合があるため、もう少し早く支給して欲しいなどの相談があります。

不審電話への対応に苦勞

最近、職員を装った不審者からの電話があつたとの相談が多い傾向にあります。実際、平成25年6月には、市内で還付金詐欺の被害も起きており、情報の周知やその後の対応などに苦勞している状況です。

レセプト点検を強化

医療事務経験者の臨時職員によるレセプト点検調査を充実強化し、縦覧点検を毎月実施して、点検により

交通事故等が疑われる場合は、給付原因報告書の提出を求め、第三者行為に該当する場合は、速やかに第三者求償事務を行っています。

重複・頻回受診者訪問指導を実施

平成24年度から、重複・頻回受診が顕著であると認められる被保険者のうち、訪問指導が必要と認められる方に対して、訪問指導を行っています。また、医療費通知を年6回、2か月分ごとに被保険者へ通知して、ご自分の医療費を確認していただくとともに、ジェネリック医薬品普及のため、被保険者証更新時に希望カードの全世帯配布などを予定しています。

理財部 収税課

理財部収税課には、職員13名、嘱託職員6名（収納員が4名、電話催告員が2名）が在籍しています。

前年度比0.6%増（現年度分）

平成24年度の国保税の収納状況は、現年度分が89・0%、現年度分と滞納繰越分を合わせて、65・6%とな

っています。

前年度と比較すると、現年度分が0.6%増、現年度分と滞納繰越分を合わせて、0.5%増となっています。

口座振替の促進

国保税の主な納付方法として、①納付書による納付、②口座振替による納付があります。

- ①納付書による納付では、コンビニでの納付も可能となっています。
- ②口座振替による納付では、広報紙などを活用して、口座振替の促進を行っています。

徴収訪問を強化

収納率向上への取り組みとして、市税等収納員による臨戸徴収訪問、5月と8月には、国保巡回訪問催告を実施しています。また、12月には全庁的な取り組みとして、課長補佐以上の職員と関係課職員等による特別巡回徴収を実施し、併せて休日夜間納税相談窓口を開設しています。

電話催告を実施

平成24年7月から電話催告員により、現年度分滞納者へ自主納付を呼びかける電話催告を行っています。

インターネット公売も実施

滞納処分により差押えた財産について、ヤフー株式会社とのインターネット公売システムを利用した公売を実施しています。土地や車のほか、古銭が売れたこともあつたそうです。

財産調査、差押処分を強化したい

最後に今後の取り組みとして、財産調査、差押処分の強化を挙げていました。

保健福祉部 健康増進課

健康増進課は、保健予防担当と健康づくり担当の2担当に分かれており、職員は30名（保健師13名、管理栄養士2名、事務職等15名）が在籍しています。



栃木保健福祉センター

目標達成に向けて継続的支援

特定健診は、集団健診と個別健診とで実施していますが、集団健診で受診する割合が高くなっています。

広報とちぎやホームページなどを使って、受診勧奨や集団健診の日程の周知を行い、受診率の向上を目指しています。

特定保健指導は、初回面接にて個別の行動目標・行動計画を作成し、特に積極的支援では、個別面接や電話、教室（メタボ予防講座）による3か月以上の継続的支援を行っています。

脱★メタボからだスッキリ通信

メタボ予防講座の内容例

〔栄養編〕

- ・健診結果から見る食生活

〔運動編〕

- ・寝ているだけでも痩せやすい！
- ・お得なからだづくり運動

- ・腰痛・膝痛改善！こつこつ貯筋運動
- ・イスに座ったままでできる！お手軽体操

- ・カラダの内側からエクササイズ！
- ・ヨガ・ピラティス

歯周疾患検診の対象者を拡大

歯周疾患は、歯の喪失だけでなく、脳梗塞や心筋梗塞、糖尿病などにも関係していることから、その予防が重要視されています。栃木市では、平成22年度以降、30歳～70歳の年齢で10歳刻みで歯周疾患検診を実施しています。しかし、結果をみると、受診者の80%～90%が要精検となっており、そのため、定期的に検診を受けて歯周疾患を予防できるよう、平成25年度から対象者を5歳刻みに拡大し、歯周疾患検診を実施しています。

禁煙を個別にサポート

その勇氣、応援します！！
禁煙サポート教室

「禁煙したい」と思っている方を、3か月間個別にサポートする、禁煙サポート教室を実施しています。

保健師がサポーターとなって、離脱

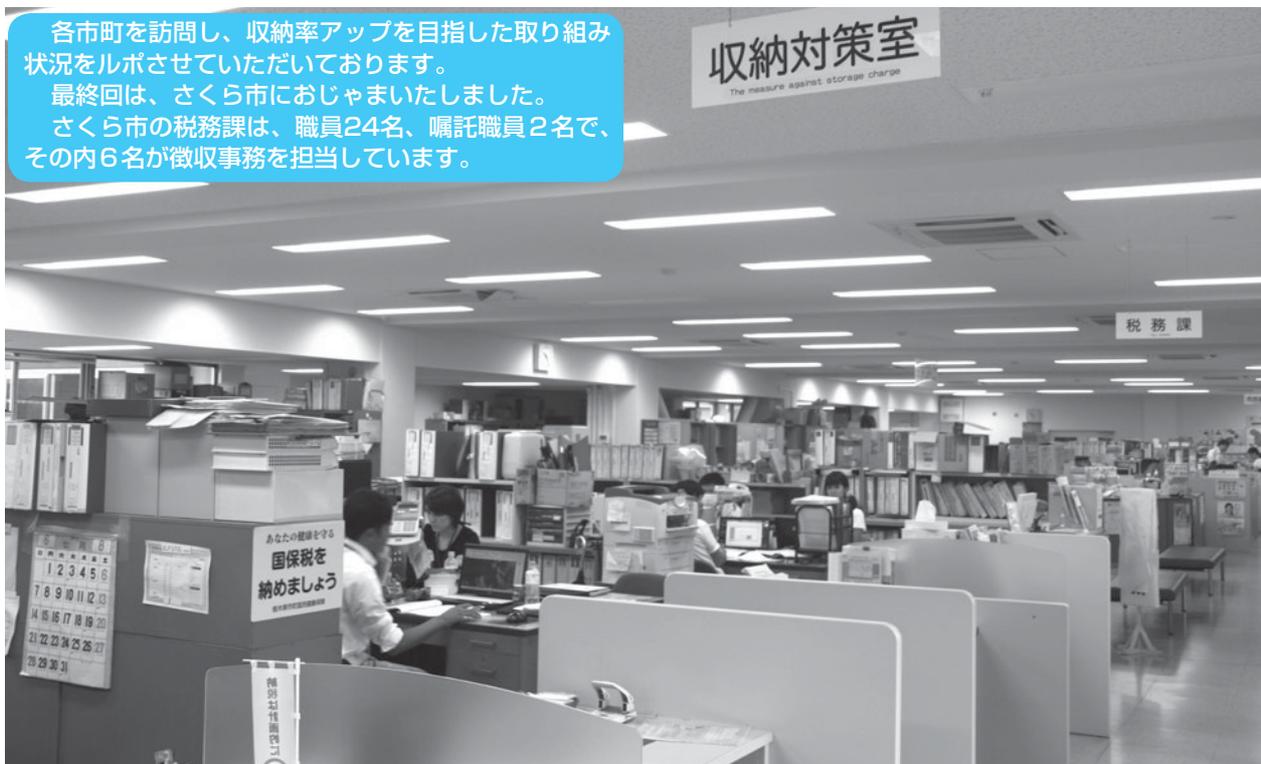
症状を軽くする方法や、禁煙を成功させる方法を紹介し、その人に合った禁煙方法を見つけていくものです。

具体的には、ニコチン依存度チェックや禁煙を成功させるための講話を経て、個別面接により禁煙開始日を設定します。そして、禁煙開始日から3か月間、電話・メール・面接により個別にサポートしていきます。

禁煙宣言書



各市町を訪問し、収納率アップを目指した取り組み状況をルポさせていただいております。
最終回は、さくら市におじゃまいたしました。
さくら市の税務課は、職員24名、嘱託職員2名で、その内6名が徴収事務を担当しています。



2年連続の収納率アップ

平成23年度の栃木県の国民健康保険料（税）現年度分収納率は、対前年度比1・03ポイント増の87・04%となっており、2年連続上昇しています。

一方、さくら市についても、2年連続で上昇しており、平成23年度については、87・90%で対前年度比1・24ポイントの増となっています。

納税相談が増えている

景気の低迷により、仕事の見つからない方（失業者）からの納税相談や個人事業者の経営状況が悪化したことからの納税相談が増えている状況です。

滞納処分を中心に収納率向上を目指す

収納率向上対策として以下のことを実施しています。

- 預貯金・生命保険・給与等の財産調査と差押・執行停止などの滞納処分
- 現年度分の収納率向上対策として、臨宅、電話催告、催告書の送付
- 搜索、動産・不動産のネット公表

今後は、口座振替の促進に力を入れます

今後は、現年度分収納率向上のため、口座振替、コンビニ納付、クレジックト納付、催告書送付、広報の活用等により納期限内納付を推進していきます。

また、預貯金・生命保険解約返戻金・

自動車税、所得税還付金・戸別所得補償交付金・給与等の調査と差押等の滞納処分を推進していきます。

さらに、滞納整理に関する幅広い専門知識を有する職員の育成、確保をしていきます。

徴収アドバイザーの指導後に、家族の協力による納付

平成24年度に国保連合会設置事業である「徴収アドバイザー派遣事業」により、「家族に収入のある方がいた場合、納税保証書を提出してもらい、家族の協力により納付額の増額・完納」という指導をしていただきました。相談した案件の中で、しばらく納付のなかった滞納者の息子が納税保証人となり、分割納付となった事例がありました。

「収納率あっぷるポ」は、国保連合会が徴収アドバイザー派遣を行った市町を取材対象とさせていただいています。さくら市をもちまして一通り取材対象の市町を訪問することができました。つきましては、今号をもちまして、「収納率あっぷるポ」は終了とさせていただきます。

今後は、「突撃ルポ保険者みである記」で、各市町の収納率アップを目指した取り組みを取材し続けていきたいと考えております。

これまで取材に応じてくださった市町の皆様とご愛読いただいた読者の皆様に対し、厚くお礼申し上げます。

国保料(税) 収納率向上に向けて 「国保制度を崩壊させないために」 ～新たなる領域への挑戦!!～

NPO法人ローカルガバメントネットワーク理事長 堀 博 晴



公務員は法律どおりに仕事をしよう

公務員の仕事は多岐にわたっていますが法律どおりに仕事をしないでも済む部署は滞納整理の部門だけではないでしょうか。「差押える」と何度言っても差押えなければ法律どおりに仕事をしているとは言えません。滞納者に「また言っているよ」という意識を植え付けると同時に、「どうせ差押なんかしやしない」と高を括られるだけになってしまいます。

分納(納付)誓約を履行しないと「○さん今月はどうしたんですか」などといちいち電話や臨戸などで催促し、遅ればせながら払ってもらおう。次の月も同じことを繰り返す。こんなことで良いのでしょうか。滞納者はお友達ではないのです。誓約書にも、履行しない場合は差押えになる旨書かれてはいますから、躊躇せず差押をするべきです。

皆さんの胸に手を当ててみてください。こういう対応をしている人が結構いるのではないのでしょうか。滞納整理に携わっている皆さんは公務員ですから、約束した通りに実行しましょう。「差押えます」と言ったら必ず差押をすること、納付誓約を破れば電話せずに差押えることが収納率向上の秘訣です。差押えないで

少額分納を容認しては延滞金が膨らむばかりか、いつまでたっても完結しない事案となってしまうのではないのでしょうか。

滞納整理は『福祉施策』ではありません

差押をあまりやらない、やりたがらない自治体の課長さんに、なんで差押えないのかをお聞きすると「国保は福祉施策だからやりづらい」という答えが返ってきます。延滞金を取らない自治体の課長さんも同じことを言います。

はたして滞納した人からお金を取る仕事は福祉施策でしょうか。決してそうではないはずです。私には「福祉」を隠れ蓑に本来やらなければいけない仕事から逃げているとしか思えません。

自治体が適正な債権回収を怠ること、すなわち「不作為」が違法と判断されることによって自治体の長や課長が責任を取らされることを考えれば、「福祉施策だから云々」ということを言っている場合ではないと思います。ましてや延滞金をいたずらに免除してしまうようでは収納率の向上は望めません。本料(税)はもちろんだ延滞金をキチンと取ることと同様に、滞納するとこんな無駄な出費

になるということを滞納者に理解、納得してもらい優良な納期内納付(納税)者になってもらうことが大切ではないのでしょうか。

皆さんの後ろには、八十数パーセントの納期内納付をしてくださる、いわゆるサイレントマジョリティーの方々が後押しをしてくださっているのではないのでしょうか。その方たちに思いを馳せれば「福祉施策だから：」などと言っておられないのではないのでしょうか。

決して一部の滞納者を放置することなく、法令に基づいて淡々と処理すればよいことだと考えます。

滞納したら差押えが当たり前自治体

私は、皆さんに江戸時代の悪代官よろしく、財産がなく支払えない人から無理矢理取るような苛斂誅求なことを求めているわけではありません。払えるのに払わない滞納者を許してはいけなと言いたいのです。

そういう人を許さないためには、滞納整理でもっとも大切に重要な仕事である財産調査をキチンとやることだと思います。

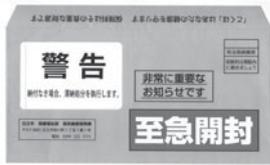
財産調査もせず滞納者の話だけを鵜呑みにして分納額を決める。しかも新規発生に追いつかない少額分納を安易に認める。これでは、払う意

思があれば小額でもいいですよと認めたようなものです。

キチンとした財産調査を行い、財産が見つかれば差押え、なければ停止処分にする。この見極めを早めにするのが大切だと思います。

人によっては爪に火をともしながら毎月支払ってくれる人もいれば、払えるのに支払わない人もいます。その見極めが大切だといいたいのです。そして、払えるのに払わない滞納者に対しては果敢に差押えなり搜索を行っていくべきだと思います。

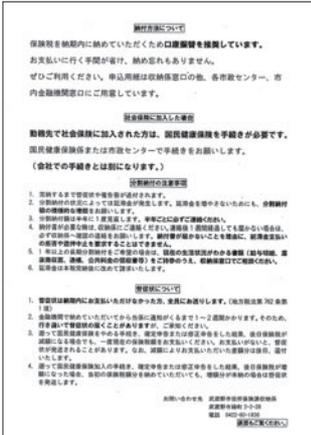
また、預金の差押えをするのに首長や管理職から決裁をもらってから



滞納処分の執行を警告する 日立市の封筒の工夫



武蔵野市の封筒の工夫



武蔵野市のチラシ (差押え予告通知書を送付する際に封入する。)



でないときできないという話を良く聞きます。金融機関で預金を発見したらその場で徴収吏員の印鑑で差押えるべきです。いちいち決裁をもらいに役所に帰っていただければ他の機関に先を越されるかもしれません。実際に時間差で先を越され、地団太を踏んだ例もあります。

法律には「徴収職員は、財産を差押えなければならぬ」とされ、徴収職員であれば自ら差押えることができます。差押えは先着手なので、一刻も早く差押えることを奨励する意味でも決裁は後回しにすべきだと考えます。

決裁が無いと差押えができないような職場では、収納率アップは望めないどころか活力のない職場になってしまうことでしょう。

また、職員がせっかく差押えてきたのに滞納者からの解除要求に安易に屈してしまうなどの話も同じです。

滞納者の票を当てにしなければ当選しない首長や議員のことばかりを気にしたり、滞納者に怒鳴られるのがいやな管理監督者の下では、職員は絶対に差押えをやらなくなります。職員が法律に基づいて差押えてくるのは本来業務であって、至極当たり前の話なのです。法律には滞納をしたら差押えなければならないと書かれていますから。

ほり堀 ひろはる 博晴

東京都八丈町税務課徴収係長、NPO法人ローカルガバメントネットワーク理事長 昭和42年江戸川区役所に入都。東京都総務局小笠原支庁、同和对策部、災害対策部 主税局足立都税事務所整理第二課長、新宿都税事務所整理第一課長、練馬都税事務所 納税課長、課税部軽油特別調査室副参事、徴収部機動整理課長、徴収指導室長を歴任。 機動整理課長の時、全国で初めてのインターネット公売を実施し成果を上げる。 「ネット公売を全国に広げたい」と、自らヤーのスタッフ募集に応募しヤフー株式会社に入社。インターネット公売の説明に全国の自治体を飛び回る。 平成23年よりNPO法人 LG Netを設立し、理事長に就任。 平成24年11月ヤフー一年退職、平成25年3月より現職。 著書には、インターネット公売のすべて(ぎょうせい)、自治体増収大作戦-インターネットが変えた-(ぎょうせい)がある。 平成17年から厚生労働省国民健康保険料(税)収納率向上アドバイザー

プロフィール

(続きは次号)

ソーシャルマーケティングを用いた 健診受診勧奨

株式会社キャンサーズキャン
石川 善樹・川本彩多利



本連載の第1回では、健診の参加者が集まらない理由は、以下の3つに大別されるというお話をしました。

今回は、理由①「そもそも、チラシ（行政の広報紙など）があることを知らない」という住民の方に、チラシがあることを知ってもらうために、どうすればいいのかということをお話したいと思います。

理由①
そもそも、チラシ（行政からの広報紙など）があることを知らない

理由②
チラシが来たのは知っているが、読んでいない

理由③
チラシは読んだが、行動していない

○チラシを見ていない人の実態とは？

健診を受診していない住民の方にお話を伺うと、意外なほど多くの人が、「健診などの案内チラシがあることを知らない」のです。栃木県内では、その割合はなんと49・0%でした。健診の対象の方には必ず送っているはずの案内チラシ。なぜ住民の約半数の方が、送られていることさえ知らないのでしょうか。

突然ですが、みなさんは、ご自宅のポストに入っている郵便物やチラシを、必要なものとそうでないものに分けるとき、1つのチラシについて、どれくらい時間をかけて判断していますか。

実は、この判断の時間は1秒未満と言われています。チラシの中で、どんなに健診の大切さを訴えかけても、この一瞬で、目に留めてもらえなければ、必要のないものだと思われ、すぐにゴミ箱行きになってしまうのです。

もちろん、住民の方に私たちのメッセージが全く届いていないわけではありませぬ。実際に、これまで私たちが作ってきたチラシを、約半数の住民の方が見てくれていて、約30%の住民の方は、実際に健診を受けてくださっているのです。

しかし、健診を受けていない約70%の方に、健診を受けてもらおうと思っただときには、今までは少し違う工夫が必要なのです。では、案内チラシでは、どのような工夫をすればいいのでしょうか。

○目に留めてもらえるチラシとは？

私たちが、住民の方向けに健診の案内チラシを作ると、健診の日時や場所など、受けるために必要な情報をたくさん盛り込むあまり、総じて文字の多いチラシになってしまうことがよくあります。一方、民間企業のチラシを見ると、写真やキャッチコピーを使って、数あるチラシの中で、より多くの人の目に留めてもらい、商品を買ってもらえるように工夫をしています。このような、人の目を留め、心を掴むための写真やキャッチコピーのことを、アイキャッチと言います。

このアイキャッチが、チラシの中でデザインされているかどうか、私たちが作るチラシと民間企業のチラシの一番の大きな違いなのです。

とは言え、私たちが作るチラシに全くアイキャッチがないかというと、実はそんなことはないのです。健診を受診してもらうためには、日時や場所など、伝えるなければいけない情

報はたくさんありますが、文章ばかりだと住民の方にはなかなか伝わらないということは、私たちも、経験上、よく分かっています。だからこそ、何が書かれているチラシなのかがかかるよう、キャッチコピーや見出しを書いて、どうにかして住民の方に情報が伝わるよう、工夫をしているのです。

このキャッチコピーや見出しは、アイキャッチとしてももちろん必要なのですが、チラシをより多くの人の目に留めてもらうためには、更に、ビジュアルを加える必要があるのです。

キャッチコピーは15文字程度のものが多いのですが、15文字を認識するのに、大体2〜3秒の時間がかかると言われています。これに対して、写真やイラストなどのビジュアルを認識するのにかかる時間は、0.3〜0.5秒。

このことから、チラシが自分に必要なものかどうかを判断する一瞬に、目を留めてもらうためには、ビジュアルを効果的に使って、アイキャッチをデザインすることが大切と言えそうですよね。

○どんなビジュアルを使えばいい？

では、実際にどんなビジュアルを使って、チラシを作ればいいのかを

うか。ビジュアルと一口に言っても、イラストや写真、フローチャートなど、いろいろなものがあります。そこで、人の目に留めてもらうためには、何をすれば効果的なのかを考えてみましょう。

以下に、イラストや写真等のビジュアルを並べました。このうち、どれが一番目に留まりますか。



上段の真ん中、「赤ちゃんの写真が一番目に留まった」と答える方が多いのではないのでしょうか。そうなのは、人が見るものの中で、一番引き付けられるのは、ずばり「人の写真」

なのです。

○なぜ人の写真は、目に留まりやすいの？

人それぞれ興味を持つものが違うのに、アイキャッチとして人の写真を使うだけで、今まで送った健診の案内を見もしなかった人たちの目を本当に引き付けられるのだろうか、という疑問を持つかもしれません。しかし、実際、人の写真は、他の物に比べて、目に留まりやすいのです。

その秘密は、私たちの心と脳のシステムにあります。

ご自身を振り返ってみてほしいのですが、初対面の相手に対して、「なんとなく好きだな」と思ったり、「ちょっと苦手かも…」とあったりした経験はないでしょうか。私たちは、何かを見るときに、少なからず自分の過去の経験等から生まれる感情を通して観察する、と言われており、この「好き」と「苦手」の差も、自分の過去の経験等を含めた、感情から判断しています。そして、この傾向は、特に、人間を見るときに、顕著になるそうです。つまり、人は、人を見るときに、感情が動きやすいのです。

そして、もう一つの秘密が、脳の視覚認知システムです。このシステムには、顔専門の認識システムと一般

的な物体の認識システムがあり、顔を見るときとそうでないときで、脳の活動が違うのです。

人の写真をアイキャッチに使ったチラシは、脳内で他のものと区別され、かつ、見る人の感情が動きやすいので、手元に届くたくさんのチラシの中で、目に留めてもらえる可能性がぐっと上がるといふ訳なのです。

○人が写っていれば、どんな写真でもいいの？

さて、ここまで「人の写真をアイキャッチにしましょう」というお話をしてきましたが、人の写真であれば、どのような写真でもいいかというと、そうではありません。チラシに目を留めてもらうため、実際の行動へとつなげるためには、以下の2つのポイントを押さえた写真であることが重要なのです。

- ポジティブなイメージを感じる写真
- 見た人が「私にもできる」と思える写真

では、この2つのポイントを押さえた写真とは、具体的にどのような写真なのでしょうか。

まず、見る人にポジティブなイメージを持たせるためには、写っている人の表情が大切です。表情は見る人

に与える印象を大きく左右するから
です。

あくびは伝染すると聞いたことがある人も多いかと思いますが、実は表情も伝染すると言われています。目の前に人がいるときに表情が伝染するのはもちろん、写真を見ているときにも、見ている本人は意識していなくても、その写真と同じ表情が伝染するそうです。つまり、チラシの写真に写っている人が笑顔だと、そのチラシを見た人も笑顔になります。すると、チラシ全体に対してもポジティブなイメージを感じやすくなるのです。

2つ目のポイントである、「見た人が『私にもできる』と思える写真」は、残念ながら、一言でこういう写真がよいと断言することはできません。というのも、誰をターゲットにするかによつて、「私にもできる」と思ってもらえる写真も変わってくるからです。

例えば、20代の筋肉質の男性をモデルにして、「外で元気に体を動かしましょう」というメッセージを伝えるチラシを作ったとします。これを年配の方に配ったとしても、受け取った人はなかなか行動しようという気にならないでしょう。それは、20代男性とターゲットの方との間に、年齢や体格等の点で大きな差があり、「私

にもできる」という感情が生まれにくいからです。

チラシのターゲットとなる住民の方の年齢の他にも、性別や住んでいる地域などによつて、「私にもできる」と思ってもらえる写真がどういふものかは変わってくるでしょう。これを探るには、住民の方に、どんな写真だと目に留めてもらいたいのか、チラシを見たときにどんな気持ちになるのかを、実際に聞いてみるのが一番の近道です。

ここで、一例、とある地域の事例をご紹介しますと思います。この地域では、年配の方の健康づくりのために、ウォーキングを勧めようと、下段左側のイラスト入りのチラシを配っていたのですが、住民の方の反応が薄く、行動を起こす方が少ないことに、担当の方は悩んでいました。そこで、住民の方に何度もヒアリングをして、下段右側のチラシを作りました。

住民の方をモデルにし、満面の笑みで歩いている写真を使うことで、ターゲットである住民の方に、親近感と「私にもできる」という気持ち、そして、歩くことにポジティブなイメージを持つてもらえるように工夫をした結果、大反響で、何人もの方が、ウォーキングを始めたのです。



私たちは、日々、住民の方の健康について考えているので、ついつい忘れがちになっていくのですが、住民の方が、毎日自分の健康について考えているとは限りません。むしろ、健診や病気の予防に対して、難しいことというイメージやネガティブなイメージを持っている方も多いのではないのでしょうか。そのように考えている人に、チラシを見て、読んで、行動してもらおうとするときには、チラシを見た瞬間に、直感的に、ポジ

ティブなイメージと、「私にもできる」という気持ちを持つてもらうことが大切なのです。

以上、みてきたように、チラシで情報を伝えるためには、最初の一瞬が一つの勝負所です。まずは、住民の方にチラシを見てもらえるよう、アイキャッチをデザインしましょう。

○次回の連載について

今回お話をさせていただいた、見てもらう工夫の次のステップは、「読んでもらうための工夫」です。次の連載では、どうやったら読んでもらえるのかを、お話できればと思います。

*ご意見・ご感想は、下記までお願い致します。

川本彩多利 (かわもととさおり)

株式会社キャンサーズキャン

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-8-3 イオレ渋谷ビル5 階

TEL 03-6427-8875 FAX 03-6427-8895

メール: kawamoto@cancerscan.jp

プロフィール

石川 善樹 医学博士

東京大学医学部健康科学科卒業後、ハーバード大学にて最新の健康づくりを研究。現在は、株式会社キャンサーズキャンにて、日本各地の健康づくりに取り組む。

川本彩多利

慶應義塾大学環境情報学部卒業。現在は、株式会社キャンサーズキャンで、地域の健康づくりに従事。

後期高齢者健診の 受診率アップへの取組み

茂木町 保健福祉課

健康寿命が男女とも

県内最長（平成24年度）

茂木町は、栃木県の東南端に位置し、茨城県境にあります。東西12km、南北27kmの南北に細長い町であり、その全ての区域は八溝山系に含まれ、標高200m前後の山地が70%を占めます。

人口は徐々に減少しています。平成18年度には高齢化率が30%を超え、年々、増加しており、急速な少子高齢化が進んでいます。

・総人口…14,353人
・高齢化率…33.0%

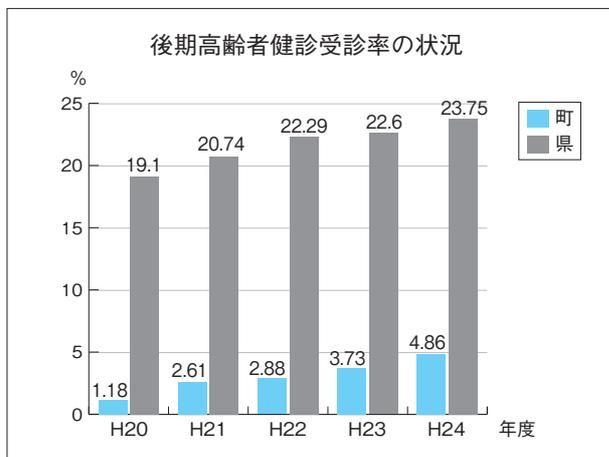
（平成24年10月1日現在）
平成24年度には、健康寿命が男女とも県内最長となりました。

健診に対する認識に差もある

生活習慣病健診時より、75歳以上の方の健診は、医療機関の定期的な受診がない方は全ての項目を受けることができ、医療機関での定期的な受診をしている方は医療機関で受けていない検査項目のみ、集団健診で

受けるように促していました。健診の受け方を老人クラブの健康相談時や電話等の問合せ時に説明していただきました。そのためか、医療機関に定期受診している方等は、受けていない検査項目のみを選択し、受診するようになりました。しかし「75歳以上は健診を受けられない」という受けとめかたをする方もおり、受診率の低迷につながっていたのではないかと思います。

健診受診状況



後期高齢者健診の受診率は、県内でワーストという状況で、県平均よりもかなり低い状況になっています。

事業内容

- ・ 集団健診・特定健診・がん検診と同日に実施
- ・ 回数…平成24年度は18回実施
- ・ 健診申込み方法…4月以降に電話で申込み
- ・ 健診希望日の1週間位前に問診票等を送付

受けることができる

検査項目を説明

「75歳以上は健診を受けられない」という意識を変えるために、老人クラブの健康講話時に健診の日程表を持参し、医療機関で受けていない検査項目（がん検診を含む）は受診することができることや申込み方法を説明しました。また、年に1回健診を受けることで自分の体の状態を知ることができ、健康で長生きできることにつながることも伝えていきました。そして、電話や窓口等での問

合せ時にも、医療機関で検査してない項目（がん検診を含む）は、集団健診で受けられることを説明していました。あわせて、必ず対象者の状況を確認し、受けることができる検査項目について申込みを受けていきました。

健診申込みの方法等を追加

平成25年度は、平成24年度までの取組みを続け、健診申込みの方法等を追加しました。

毎年、前年度3月に健診申込書（特定健診・がん検診対象者の氏名等が



健診の様子（問診）

記入されている）と健診日程一覧表を地区の保健環境委員とおし、配布・回収しているのですが、平成24年度までは40歳～75歳までの方しか記入できませんでした。今年度はその健診申込書に76歳～78歳までの方も記入できるようにしました。また、健診日を特定健診・がん検診の総合健診日の他に、後期高齢者のみの健診日を3日間設けました。

対象者が受診しやすい

環境を整える

少しずつではありますが、受診率



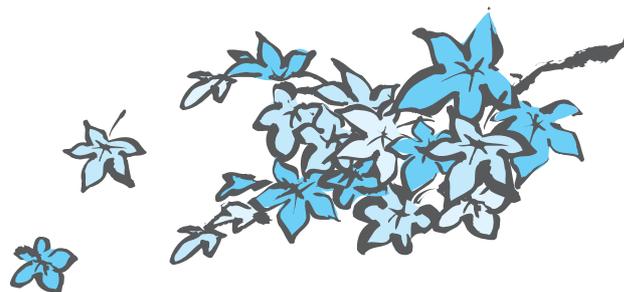
健診の様子（血圧測定）

が増加してきました。対象者への説明を繰り返すことで、「健診は受けることができない」のではなく、「検査項目を選択して受けることができる」という意識に変化してきたように感じます。また、対象者の方々が地区でのつながりを持っているため、他の人が受けると自分も受けてみようという気持ちをしてきてくれることも受診率の増加につながってきているのではないかと思います。今年度は前年度に健診申込みをとったこともあってか、後期高齢者健診日への申込みも増えてきています。



健診の様子（採血）

今後も情報提供を続け、対象者が受診しやすい環境を整えられるようにしていきたいと思えます。



健診を受けて明るい益子町

～受診率・保健指導率向上の取り組み～



マスコット

益子町

益子町では、特定健診の受診率を上げ、疾病の予防、早期発見により医療費の抑制を図ろうと力を入れて実施しています。

昨年度までは、受診希望者が毎年申込書を提出することにより健診の予約受付をしていました。しかし、25年度は、昨年度受診された方には、町で受診日を設定し、仮予約という形をとり、都合が悪い方は電話などで期日の変更をしてもらうという方法としました。また、昨年の未受診者の方には料金受取人払いの申込書で直接申し込めるようにしたり、電話での申し込みもできるようにしました。仕事などで忙しい方のために、日曜日の健診日を増やしたり、女性だけの健診日を2日設けたりするなど、受診しやすい工夫をしました。

また、町全体に健診受診の意識を波及するために、年度初めの各種総会や会議、小中学校で開催されている家庭教育学級（保護者が自分自身の健康に対する意識が薄れ気味になる時期）などの場を利用して、受診勧奨を含めた健康教育をしています。そのほか、健診情報が生活環境の中で目に付きやすいように手作りのポスターを作成し、町内の医療機関や金融機関、ガソリンスタンドや商店などに掲示のお願いもしました。

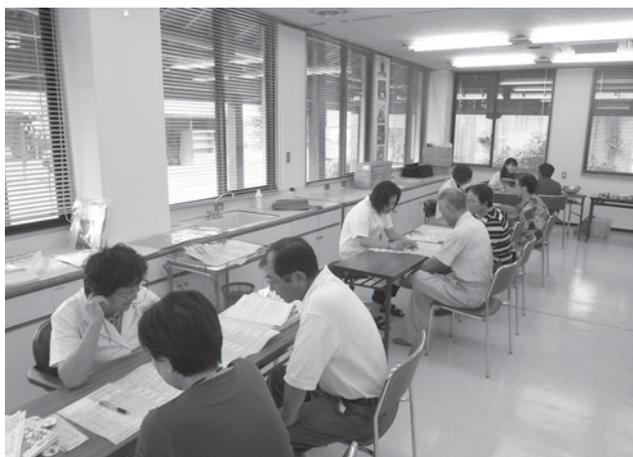
しかしながら、健診を長年受けない方を受診させるということは、なかなか難しいものです。そこで益子町では、特定健診の受診率や保健指導の実施率を上げるため、専任の保健師を平成25年度に採用しました。それにより未受診者宅を訪問して受診勧奨をしたり、自治会長さんと一緒に未受診の世帯を訪問したりするなど、地域に飛び出し、きめ細かい受診勧奨ができるようになりました。今後は、はがきや電話による受診勧奨も行う予定です。

特定保健指導については、健診データのほか、生活習慣を振り返ることができるよう、初回面接の時に事前に記入していただいた「生活振り返りシート」をもとに話を進めていきます。生活習慣のどこに問題があるのかを明らかにして、何を変えていけば良いのかを自ら気が付くことができるよう説明をし、接し方としては、将来的な健康を共に願い、一緒に取り組んでいきたいという人間味ある心、言葉で支援するように心掛けています。

支援の方法としては、忙しい毎日の生活の中でも、関わることでできるようにするため、対象者の都合の良い時間を確認し、支援ができるようにしています。また、健診データ

ではわからないストレスなど心の問題については、よくお話を聴いていくように配慮しています。今年度は集団指導の教室の内容も、より興味をもてるよう計画しておりますが、仕事などで参加できない方のために、従来のアンケートの送付や、電話での指導に加えて訪問を行い、支援を継続していく予定です。

このように町民に寄り添い、動機付け支援、積極的支援をしていくことで、目標を達成できるよう「健診を受けて明るい益子町」をテーマにして、健康寿命の延伸、医療費の削減に取り組んでいます。



健診結果説明会の様子



フリーライミングに 挑戦したい

佐野市
医療保険課 国保係
主事補

え び ぬ ま しん い ち

海老沼 真一

国保経験年数 1年4ヶ月

- ① しし座
- ② A型
- ③ フリーライミング
- ④ 特になし
- ⑤ ベース・スノーボード
- ⑥ とりあえずやる
- ⑦ 睡眠
- ⑧ 特になし
- ⑨ アウトレットモールがあるので買い物を楽しめるところと自然豊かなのでバーベキューやキャンプなどのアウトドアも楽しめます。
- ⑩ 国保事業に携わるようになり、日々わからないことだらけですが、周囲の方々に助けていただきながらなんとかやってこられました。
これからもっとレベルアップできるように頑張ります。



ハーフマラソンを完走したい

塩谷町
住民課 保険年金担当
主 事

ぐん じ たい き

郡司 大輝

国保経験年数 1年6ヶ月

- ① 双子座
- ② AB型
- ③ ハーフマラソンを完走することです。
- ④ 未来の自分がどのように生きているか気になります。
- ⑤ 映画鑑賞、水泳、カラオケです。
- ⑥ 石橋を叩いて渡る 荒唐無稽
- ⑦ 腹筋、腕立て伏せ、スクワットを継続することです。
- ⑧ 家族全員とこれからも元気で過ごしていくことです。
- ⑨ 緑の山々と名水百選の尚仁沢湧水の清流が広がる自然豊かな町です。また、大震災や豪雨による被害も少ないため、災害にも強い町です。
- ⑩ 制度が複雑なものが多々あり、正直覚えることが難しい仕事だと感じました。
保険の切り替えや高額療養費の支給作業等、税金や医療費の超過支払分に返還といった金銭に係わる仕事が担当なので手続きの際は、慎重かつ正確に行うことを肝に銘じてきちんと仕事をこなせるように頑張ります。

平成25年度国民健康保険料(税)徴収実務研修会

滞納整理の実務などを学ぶ

平成25年7月23日(火)に、国保連合会9階大会議室で、国民健康保険料(税)徴収実務研修会が開催された。本研修会は国民健康保険料(税)の徴収実務に従事している職員が、徴収実務を円滑に進めていくうえでの必要な知識を習得することで、国民健康保険料(税)の収納率向上を図ることを目的に開催され、保険者などから25名の参加があった。



「収納方針を決定することが大切」と話す秋澤重男氏

本研修会は、徴収アドバイザーの秋澤重男氏を講師として、午前中は講義、午後はグループ討議を実施した。

午前中は、「滞納整理の実務について」と題し、秋澤氏の講義が行われた。秋澤氏は、「まず、収納方針を決定することが大切」とした上で、差押の方法などについて、差押調査などを例示しながら講義を行った。

午後のグループ討議では、5班に分かれて、「国保税の少額分納」や「納付資力が無く納税意力の少ない世帯主の対応について」など市町から提出された6議題について討議が行われ、各市町の取り組み状況などについて意見交換を行った。最後に各議題に対する討議結果について、各グループから発表を行い、講師の秋澤氏が助言を行った。

参加者からは、「納税保証が非常に有効であるとか、他市町の意見を聞くことができ、大変勉強になった。」などの声があった。

平成25年度国保事務担当職員研修会

国保事務の諸問題について意見や情報交換を行う

平成25年8月27日(火)に、国保連合会大会議室で、国保事務担当職員研修会が開催された。

本研修会は、市町における国保事務担当者の資質向上と事務の適正化を図ることを目的として開催しており、市町国保担当者23人の参加があった。

国保の構造的な問題と対応を説明

最初に、栃木県保健福祉部国保医療課 課長補佐 塩原 千恵子氏による「国民健康保険の現状と課題について」と題する特別講演が行われた。

講演ではまず、市町村国保の構造的な問題を、財政基盤や財政の安定性・市町村格差を中心に整理された。そして、構造的な問題への対応として、財政基盤の強化や財政運営の都道府県単位化の推進、財政調整機能の強化などを平成24年の国保法改正を踏まえ説明された。

国保事務の諸問題について研究討議

引き続き、「保険給付」、「資格得喪」、「保健事業」をテーマとした分科会が

行われた。分科会では、栃木県保健福祉部国保医療課より、吉原佳子主査、篠崎泰英主査、篠崎陽介主任を助言者として、事前に各市町から提出された国保事務に関する諸問題についての研究討議と各市町間での意見・情報交換を行った。

研修会の参加者からは、「他の市町の状況や意見が聞けて有意義であった。」「他の市町の考え、手法を聞くことで、自分の市町の取り組み方を見つめなおす機会となった。」などの声があった。



特別講演「国民健康保険の現状と課題について」を聞く参加者

第三者行為損害賠償求償事務コーナー

☆平成24年度第三者行為損害賠償求償事務共同処理事業実績

収納金額が約4億2397万円

○受任件数

区分	平成24年度実績		平成23年度実績
	件数	前年比	件数
国保	485	97.59%	497
後期	187	96.89%	193
介護	14	70.00%	20
合計	686	96.62%	710

○請求件数

区分	平成24年度実績				平成23年度実績	
	件数	前年比	金額	前年比	件数	金額
国保	494	99.80%	279,115,401	89.60%	495	311,500,547
老健	0	-	0	-	1	2,814,872
後期	211	106.03%	223,189,262	88.85%	199	251,196,595
介護	15	115.38%	15,640,488	290.79%	13	5,378,668
合計	720	101.69%	517,945,151	90.73%	708	570,890,682

○収納状況

区分	平成24年度実績				平成23年度実績	
	件数	前年比	金額	前年比	件数	金額
国保	519	96.29%	226,744,588	86.31%	539	262,694,417
老健	44	107.32%	920,000	15.07%	41	6,103,325
後期	224	102.28%	181,094,805	78.02%	219	232,123,183
介護	10	58.82%	15,209,830	177.99%	17	8,545,127
合計	797	97.67%	423,969,223	83.22%	816	509,466,052

※収納状況は、各年度において損保会社等から収納し、市町等へ送金した件数及び金額です。

平成24年度第三者行為損害賠償求償事務共同処理事業の実績は、収納金額が約4億2397万円となり、対前年比83.22%と、前年度実績を下回る結果となりました。

収納金額の伸びは、受託件数の増減が大きく影響するため、保険者等における事故の発見が重要となります。

第三者行為に該当した場合には、保険者等への届出が義務であることを被保険者に更に周知いただき、委任件数の増加を目指していただきたいと思います。

今後も医療費適正化支援事業として、保険者等との連携を図りながら、更なる充実・強化に努めてまいります。第三者行為に関する相談等については随時応じておりますので、是非ご活用ください。

第三者行為(交通事故)に関する問合せ

事業振興課 共同事業担当 TEL:028-622-7815

歩こう、歩こう! あの道この道



水辺を楽しむ（鬼怒グリーンパーク）

緑と水を楽しむ

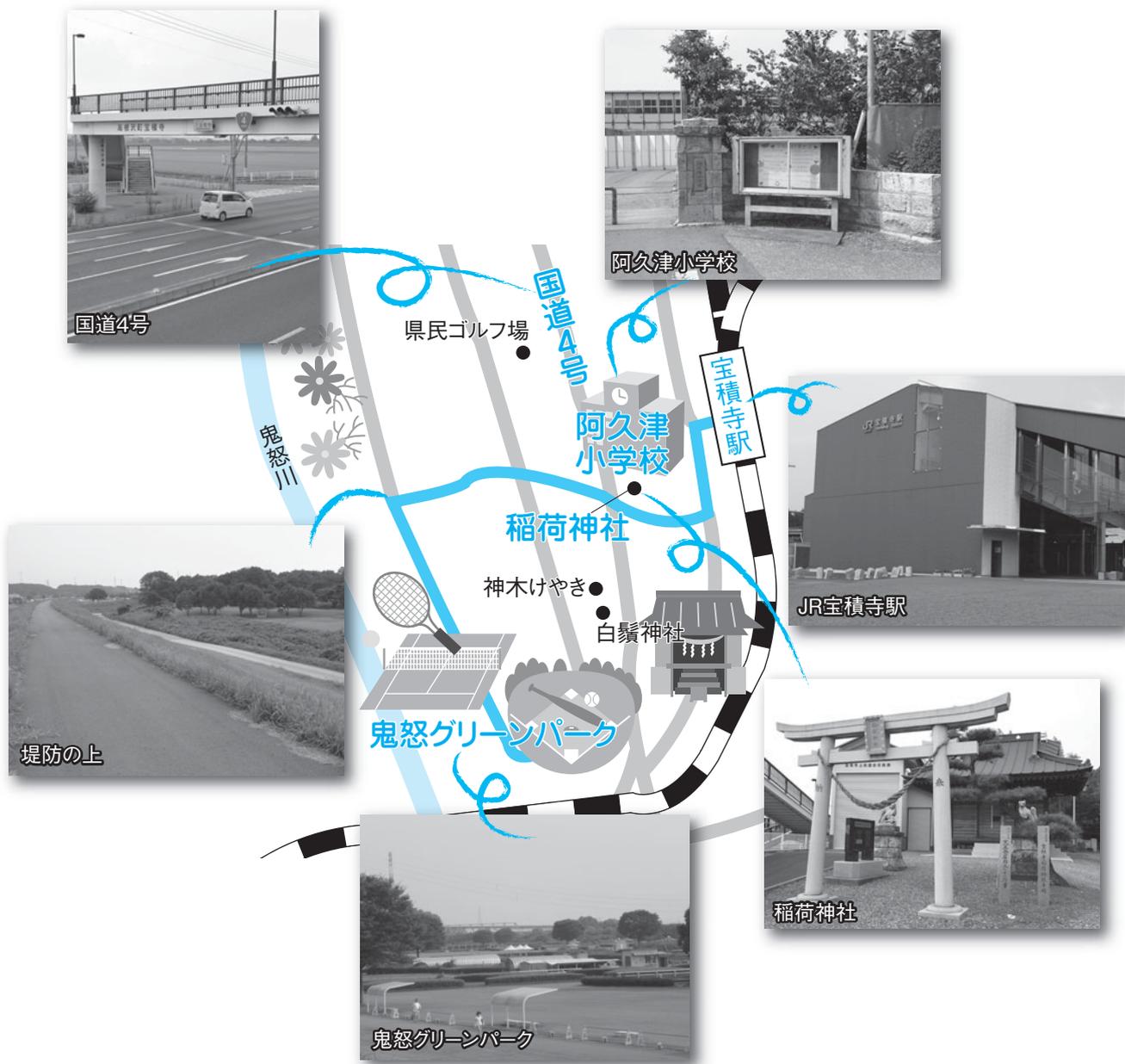
今回は、高根沢町内を歩きました。

高根沢町内には、鬼怒川が流れ、河川敷にはボート池、水上アスレチック、水遊び広場などを中心とした「鬼怒グリーンパーク」が広がっています。

今回は、鬼怒川の河岸をメインに、緑と水を楽しむウォーキングコースを紹介します。

今回のウォーキングコース 約2.6km

JR宝積寺駅 ⇒ 阿久津小学校 ⇒ 国道4号 ⇒ 鬼怒グリーンパーク



国保連合会のうどき

10月

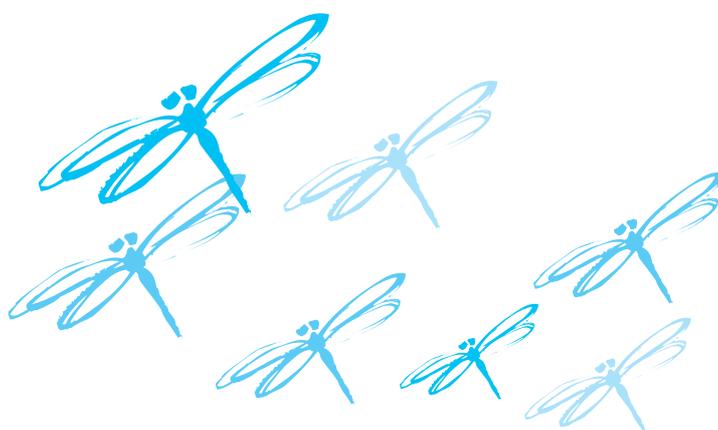
4日	第53回全国国保地域医療学会(～5日)	島根県松江市
8日	第三者行為損害賠償求償事務保険者等巡回訪問(13:30～)	上三川町
9日	第三者行為損害賠償求償事務保険者等巡回訪問(13:30～)	大田原市
17日	第三者行為損害賠償求償事務保険者等巡回訪問(13:30～)	那須烏山市
18日	審査委員会(～21日)	審査委員会室
	徴収アドバイザー派遣事業(10:30～)	鹿沼市
22日	介護給付費審査委員会(16:00～)	9階会議室
23日	市町村国保運営協議会委員研修会(13:00～)	宇都宮市東市民活動センター
24日	関東甲信静地区国民健康保険診療施設協議会(～25日)	群馬県前橋市

11月

6日	国民健康保険等診療報酬明細書点検調査事務助言	宇都宮市
7日	国民健康保険等診療報酬明細書点検調査事務助言	那珂川町
8日	事務部会(13:30～)	9階会議室
13日	第三者行為損害賠償求償事務保険者等巡回訪問(13:15～)	小山市
18日	監事会(10:30～)	9階会議室
	審査委員会(～21日)	審査委員会室
	介護サービス相談担当者研修会(13:30～)	とちぎ健康の森
21日	国保制度改善強化全国大会	東京都
22日	介護給付費審査委員会(16:00～)	9階会議室
28日	理事会(14:00～)	9階会議室

12月

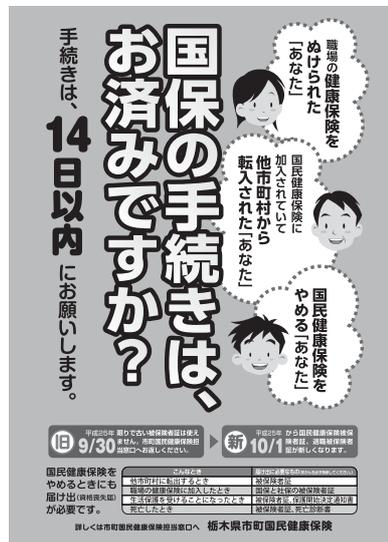
9日	国民健康保険等診療報酬明細書点検調査事務助言	鹿沼市
16日	審査委員会(～19日)	審査委員会室
20日	介護給付費審査委員会(16:00～)	9階会議室



ポスターを作成しました

本会で国保被保険者証更新時ポスターを作成して、希望する市町にお配りしました。国保の手続きの啓発などにご活用ください。

事業振興課 事業振興担当
TEL 028-622-7815



国保の手続きは、お済みですか？

編集後記

7月10日から11日にかけて開催された国保連合会広報担当職員研修に参加してきました。今回のテーマは、「読者の心に響く写真を撮る」で、ある新聞社のカメラマンから写真の撮り方の指導を受けました。よい写真とは、「記事を読まなくても一目で伝えられる映像」とのこと。

また、今回の特別寄稿②では、目に留まりやすいのは、「人の写真」とのこと。

いずれにしても、写真は読者を引きつけ、こちらが伝えたいことを一瞬にして伝えられるということでしょう。

私の撮影技術はというと、今号の写真のとおりですが、これからたくさん撮影して腕を上げたいと思います。

(T・K)

栃木の国保 vol.63
2013.9/AUTUMN

編集者 寺内誠一
発行者 栃木県国民健康保険団体連合会
〒320-0033 宇都宮市本町3番9号
☎028-622-7242

編集 (株)松井ピ・テ・オ・印刷
〒321-0904 宇都宮市陽東五丁目9番21号
☎028-662-2511/FAX028-662-4278

〈表紙の写真〉 栃木市渡良瀬遊水地

(栃木市)



栃木市が71.2%を占める渡良瀬遊水地は、ヨシ原が一面に広がる大自然です。絶滅危機がある動植物が多く見られる渡良瀬遊水地では、植物や野鳥などの観察会が行われています。また、熱気球を始めとしたスカイスポーツやウォータースポーツ、自転車、乗馬なども多くの人に楽しまれています。